

## 日本産スゲ属植物の分布 (二)

玉城 松栄, 秋山 茂雄, 里見 信生

Shoei TAMAKI, Shigeo AKIYAMA & Nobuo SATOMI

### Distribution Maps of the Carices in Japan (2)

本年報第1巻に於て、日本産スゲ属中、本州中部以北、北海道に分布すると思われる種、即ち原・金井(1958)の Distr. Type V. 及び VI. に属する6種(ミタケスゲ、ヒロバスゲ、サドスゲ、タヌキラン、タテヤマスゲ、アイズスゲ)についての分布地図を報告し、同時に同じ様な分布をすると思われるもの27種をあげた。以後、玉城は本邦産スゲ属226種40変種について、北海道大学理学部、山形大学農学部、東京大学理学部、国立科学博物館、金沢大学理学部、京都大学理学部、鹿児島大学農学部、琉球大学理工学部及び筆者等の所蔵標本をもとにして分布地図を作製した。それによると、Distr. Type V. (ミタケスゲ型と呼ぶ)、即ち本州中部から東北、北海道に分布するものは、殆んど北方系、高山性の53種(20%)が属し、本邦産本属の最も多くの種を含む型である。各種の分布様式は、「樺太<sup>太</sup>千島>北海道一本州」の連絡：タカネハリスゲ (*C. pauciflora*), ミチノクハリスゲ (*C. capillacea* var. *sachalinensis*), エゾノコウボウムギ (*C. macrocephala*), ホソバオゼヌマスゲ (*C. nemurensis*), ハクサンスゲ (*C. canescens*), ホロムイスゲ (*C. middendorffii* var. *middendorffii*), オオアゼスゲ (*C. thunbergii* var. *appendiculata*), ネムロスゲ (*C. gmelini*), ヤチスゲ (*C. limosa*), オノエスゲ (*C. tenuiformis*), ケヤリスゲ (*C. vaginata* var. *vaginata*), タカネシバスゲ (*C. capillaris*), グレーンスゲ (*C. parciflora*), エゾサワスゲ (*C. oederi* var. *viridula*), カミカワスゲ (*C. sabyensis* var. *sabyensis*), ゴンゲンスゲ (*C. sachalinensis* var. *sachalinensis*), マツマエスゲ (*C. longerostrata* var. *longerostrata*), ヌイオスゲ (*C. vanheurckii*), オオカサスゲ (*C. rhynchophysa*), ヒロハイッポンスゲ (*C. pseudo-loliacea*), イッポンスゲ (*C. tenuiflora* var. *tenuiflora*), オニナルコスゲ (*C. vesicaria*), 計22種, 「千島—北海道一本州」の連絡：イトキンスゲ (*C. hak-kodensis*), オオハリスゲ (*C. uda*), ハガクレスゲ (*C. jacens* var. *jacens*), タカネヤガミスゲ (*C. bipartita* var. *scaber*), イトヒキスゲ (*C. remotiuscula*), イトナルコスゲ (*C. laxa*), ミタケスゲ (*C. michauxiana* var. *asiatica*), ジョウロウスゲ (*C. capricornis* var. *capricornis*), ヒカゲシラスゲ (*C. planiculmis*), ホロムイクグ (*C. tsuishikarensis*), ホソスゲ (*C. disperma*), 計11種, 「樺太—北海道一本州」の連絡：ヒロハオセヌマスゲ (*C. traiziscana*), ヒメカワズスゲ (*C. brunnescens*), アカンスゲ (*C. loliacea*), ヒラギシスゲ (*C. augustin-owiczii* var. *augustinowiczii*), ハナマガリスゲ (*C. pilosa* var. *auriculata*), イトアオスゲ

(*C. puberula* var. *puberula*), 計 6 種, 「北海道一本州」の連絡: コタヌキラン (*C. doenitzii*), ミヤマクロスゲ (*C. flavocuspis* var. *flavocuspis*), チャイロタヌキラン (*C. flavocuspis* var. *platycarpa*), ミヤマアシボソスケ (*C. scita* var. *scita*), リシリスゲ (*C. scita* var. *riishirensis*), クグスケ (*C. pseudo-cyperus*), ミヤマアオスケ (*C. sachalinensis* var. *longiuscula*), クモマシバスゲ (*C. subumbellata* var. *verecunda*), 計 6 種 2 変種, 「北海道一本州—四国—九州」の連絡: アズマスゲ (*C. lasiolepis*), ハリスゲ (*C. onoei*), の 2 種, 「本州の特産品」: ニッコウハリスゲ (*C. fulva*), ヤマタヌキラン (*C. angustisquama*), キイトスゲ (*C. alterniflora* var. *fulva*), イワスケ (*C. stenantha* var. *stenantha*), の計 4 種である。また Distr. Type VI. (タテヤマスゲ型と呼ぶ), 即ち本州から北海道にまで分布し, しかも日本海要素の分布様式を示す Group で, 22 種 (8 %) が含まれる。その中 10 種, 即ちホスケ (*C. senanensis*), タテヤマスゲ (*C. aphyllopus* var. *aphyllopus*), ヤシマスゲ (*C. aphyllopus* var. *paludicola*), マシケスゲモドキ (*C. scitaeformis*), ザオウスゲ (*C. kattaeana*), アイズスゲ (*C. hondoensis*), ナガボノコジュズスゲ (*C. vanioti*), ミチノクホンモンジスゲ (*C. cuneata*), マルミノミヤマカンスゲ (*C. multifolia* var. *globosa*), ホソバカンスゲ (*C. temnolepis*), 等は本州特産であり, この分布型のものの 50 % を占めている。「北海道一本州」の連絡: キンスゲ (*C. pyrenaica* var. *pyrenaica*), セイタカキンスゲ (*C. pyrenaica* var. *altior*), オオカワズスゲ (*C. stipata*), タヌキラン (*C. podogyna*), の計 4 種, 「樺太—千島—北海道一本州」の連絡: ツルスゲ (*C. pseudo-curaica*), サドスゲ (*C. sadoensis*), ヤラメスゲ (*C. lyngbyei*), チャシバスゲ (*C. verna* var. *microtricha*) の計 4 種, 「千島—北海道一本州」の連絡: カワズスゲ (*C. omiana* var. *monticola*), キンチャクスゲ (*C. mertensii* var. *urostachys*), ダケスゲ (*C. paupercula*), の計 3 種, 「樺太—北海道一本州」の連絡: ムジナスゲ (*C. lasiocarpa* var. *occultans*) の 1 種である。本報告に於ては前報の 6 種につづき, 上記の種中より, キンスゲ, イトキンスゲ, ニッコウハリスゲ, オオカワズスゲ, ハクサンスゲ, ヒメカワズスゲ, カワズスゲ, ホスケ, ヤラメスゲ, ホロムイスゲ, コタヌキラン, マシケスゲモドキ, ヒラギシスゲ, キンチャクスゲ, ヤマタヌキラン, ミヤマクロスゲ, ヤチスゲ, ダケスゲ, イワスケ, ハナマガリスゲ, グレーンスゲ, ナガボノコジュズスゲ, エゾサワスゲ, ヒカゲシラスゲ, オニナルコスゲ, オオカサスゲ, チャシバスゲ, ハガクレスゲ, イトアオスケ, ミチノクホンモンジスゲ, ゴンゲンスゲ, ホソバカンスゲ, マツマエスゲ, ムジナスゲ等 34 種について分布地図を作製し, これらについて解説したい。

#### 7. *Carex pyrenaica* WAHL. var. *pyrenaica* キンスゲ (Map—VII.)

根茎は簇生; 茎は高さ 8—30 cm, 粗洪; 基部鞘葉は淡色—黄褐色, 鱗片状; 葉は巾 2 mm, 裏面に小乳嘴突起あるために帯白色; 小穂は茎頂に単生, 頂部雄花, 基部雌花, 直立, 長さ 1—1.5 cm; 雌花鱗片はだ円形—披針形, 長さ 3 mm, 鈍頭, 褐色, 無芒; のう苞は膜質, 平凸形, 長さ 4—5 mm, 基部長柄, 表面は赤褐色斑点疎布, 微脉, 無毛, 頂部長嘴, 口辺 2 裂, 成熟時背曲; 果は長だ円形, 長さ 2 mm, 基部短柄; 柱頭 3。キンスゲ節 (Sect. *Callistachys*) に属し, 本節には本基本変種の他, 変種セイタカキンスゲ (var. *altior*) が本邦にあり, この変種も分布

型は基本変種とにているが分布はやや極限されている。本基本変種の分布は北米、シベリヤ、欧州に及び、分布様式は「千島—北海道—本州」の連絡をすると思われる。本邦に於ける主な産地は北海道：知床半島、大雪山（黒岳、旭岳等）、本州：八幡平、鳥海山、月山、飯豊山、妙高山、白馬岳、立山、乗鞍岳、仙丈岳、信濃御岳等の高山帯でミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

#### 8. *Carex hakkodensis* FRANCH. イトキンスゲ (Map—VIII.)

根茎は簇生；茎は高さ8—50 cm，粗渋；基部鞘葉は褐色，鱗片状；葉は巾2—3 mm；小穂は茎頂に単生，線柱状，頂部雄花，基部雌花，彎曲，長さ2.5—3.5 cm；雌花鱗片は倒卵状長だ円形，長さ3—5 mm，截頭，有芒，黄褐色；のう苞は膜質，狭披針形，長さ7—9 mm，不明瞭3稜形，基部漸尖して長柄，表面顯著脉，無毛，頂部漸尖して長嘴，口辺2裂せず；柱頭2。イトキンスゲ節 (Sect. *Circinatae*) に属し，本邦産は本種のみである。本節は前記キンスゲ節とは のう苞が開出，背曲しない事，雌花鱗片永存する事，小穂が彎曲する事等で異り，シラコスゲ節とは のう苞基部に長柄あり，雌花鱗片黄褐色である等で異なるが，小穂が茎頂に1で，花部の性別では一致する。本種の分布はカムチャッカ，千島に及び，分布様式は「千島—北海道—本州」である。本邦での主な産地は北海道：知床半島，斜里岳，天塩岳，大雪山，夕張岳，本州：八甲田山，八幡平，鳥海山，飯豊山，白馬岳，立山，乗鞍岳，仙丈岳，木曽御岳，加賀白山等の高山帯で，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

#### 9. *Carex fulta* FRANCH. ニッコウハリスゲ (Map—IX.)

根茎は簇生；茎は高さ15—40 cm，平滑；基部鞘葉は褐色，鞘状；葉は巾1—2 mm；小穂は茎頂に1，頂部雄花，基部雌花，直立，長さ0.7 cm；雌花鱗片は卵形—だ円形，長さ2 mm，鋭頭，褐色；のう苞は膜質，広卵形，長さ2.5 mm，3稜形，表面有脉，無柄，有嘴，口辺2裂せず；果は柱状卵形 3稜形，長さ2 mm；柱頭3。ハリスゲ節 (Sect. *Capitellatae*) に属し，本節の本邦産品は6種2変種が知られているが，本種と同じ分布型をすると思われるのはその中オオハリスゲ (*C. uda*)，ミチノクハリスゲ (*C. capillacea* var. *sachalinensis*)，ハリスゲ (*C. onoei*) の3種である。他のハリガネスゲ (*C. capillacea* var. *capillacea*)，マツバスゲ (*C. biwensis*)，コハリスゲ (*C. hakonensis*) は北海道から本州，九州にまで分布し，カサスゲ型 (Distr. Type I.) の分布をする。これに反して本種は本邦特産で主な産地は本州：八幡平，盛岡，湯殿山，日光，尾瀬原，福島県西白河，戸隠山，福井県石徹白村，加賀白山，摂津新砥村等で，本種をふくむ上記3種はミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

#### 10. *Carex stipata* Münl. オオカワズスゲ (Map—X.)

根茎は簇生；茎は高さ30—60 cm，3稜形粗渋；基部鞘葉は褐色，鞘状；葉は巾5—8 mm；小穂は多数，茎頂部に密集，各小穂は頂部雄花，基部雌花，長さ0.8 cm；雌花鱗片は卵形—披針形，長さ3 mm，鋭頭，有芒，淡色；のう苞は膜質，卵披針形，長さ5 mm，平凸形，基部短柄，表面有脉，無毛，有翼，長嘴，口辺2深裂；果は小卵形，平凸形，長さ2 mm；柱頭2。オオカワズスゲ節 (Sect. *Vulpinae*) に属し，分布は北米，ソ連に及び，「北海道—本州」の連絡がある。本邦に於ける主な産地は北海道：宗谷岬，根室友知，釧路，厚岸，支笏湖畔，白老，定山溪，渡島上

磯，本州：八幡平，盛岡，陸中一ノ関，月山，軽井沢，日光，戸隠山，諏訪，八ヶ岳，白馬岳，愛知県川上村等で，タテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。

11. *Carex canescens* L. ハクサンスゲ (Map-XI.)

根茎は簇生；茎は高さ20—60 cm，3稜形粗渋；基部鞘葉は褐色，鞘状；葉は巾3 mm，裏面粉白色；小穂は多数，各小穂は頂部雌花，基部少数雄花，直立，長さ2 mm；雌花鱗片は広卵形，長さ2 mm，淡褐色，鈍頭；のう苞は膜質，卵形，長さ2—2.5 mm，短柄，表面有脉，小乳嘴突起密布，短嘴，口辺2裂せず；柱頭2。ハクサンスゲ節 (Sect. *Heleonastes*) に属し，本節には本邦産8種1変種が含まれ，各々の分布型はハリタマスゲのみ北海道のみの分布 (Distr. Type VIII.) で，他のもの (タカネヤガミスゲ，ヒロハオゼヌマスゲ，ホソバオゼヌマスゲ，ヒメカワズスゲ，ヒロハイッポンスゲ，アカンスゲ，イッポンスゲ) はすべて本種と同じ型の分布をする。本種の分布は欧州，シベリヤ，満州，中央アジア，北米，南米，ニュージーランド等に広く，分布様式は「<sup>千島</sup>樺太>北海道一本州」の連絡をする。本邦に於ける主な産地は北海道：浜頓別，根室風蓮湖，厚岸，大雪山高根原，白老，本州：八甲田山，秋田県長沼，磐梯山，尾瀬沼，白馬岳，黒部祖母谷，上高地，加賀白山等で，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

12. *Carex brunnescens* Poir. ヒメカワズスゲ (Map-XII.)

根茎は簇生；茎の高さ20—40 cm，3稜形，粗渋；基部鞘葉は褐色，鞘状；葉は巾2 mm；小穂は多数，各小穂は上部雌花，基部少数雄花，直立，長さ0.5 cm；雌花鱗片は卵形，長さ2 mm，鈍頭，淡色；のう苞は膜質，柱状卵形，長さ2—2.5 mm，基部収縮短柄，表面有脉，無毛，短嘴，口辺2裂せず；果は両凸レンズ形，長さ1.5 mm；柱頭2。ハクサンスゲ節 (Sect. *Heleonastes*) に属し，分布は欧州，カムチャッカ，アラスカ，北米，樺太に及び，「樺太—北海道一本州」の連絡がある。本邦に於ける主な産地は北海道：根室落石，大雪山黒岳，ニセコアンヌプリ，本州：八甲田山，青森岩木山，八幡平，焼石岳，尾瀬原，磐梯山，白馬岳，立山，上高地，日光，八ヶ岳，木曽御岳，赤石山，加賀白山等で，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

13. *Carex omiana* FRANCH. var. *monticola* OHWI カワズスゲ (Map-XIII.)

根茎は短匍枝あり；茎は高さ10—30 cm，粗渋；葉は巾1—2 mm；基部鞘葉は黄褐色，鞘状；小穂は多数，各小穂頂部雌花，基部雄花，茎頂部に密集する，無梗，側立，長さ0.3—0.8 cm；雌花鱗片は広卵形，長さ2—2.5 mm，鋭頭，淡褐色—緑色；のう苞は厚膜質，開出一背曲，卵披針形，長さ3—4 mm，両凸形，有翼，円脚，長嘴，口辺2裂，有脉，無毛；柱頭2。カワズスゲ節 (Sect. *Stellulatae*) に属し，本節には本邦産3種1変種が含まれ，各々の分布型は，キタノカワズスゲ (*C. muricata*) が北海道のみに分布 (Distr. Type VIII.)，ヤチカワズスゲ (*C. omiana* var. *omiana*) がカサスゲ型 (Distr. Type I.)，チャボカワズスゲ (*C. ohwii*) が九州のみの分布 (Distr. Type IX.) である。本種は本邦特産で，主な産地は北海道：大雪山，苫小牧，渡島湯ノ川，函館山，本州：八甲田山，八幡平，秋田市，岩手山，蔵王山，月山，飯豊山，焼石岳，尾瀬沼，日光，苗場山，戸隠山，霧ヶ峯，加賀白山等でタテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。

#### 14. *Carex senanensis* OHWI ホスゲ (Map-XIV.)

根茎は簇生；茎の高さ20—60 cm，粗渋；基部鞘葉は褐色，鱗片状；葉は巾2 mm；小穂は多数，各小穂は頂部雌花，基部雄花，無梗，直立，長さ0.5—1 cm；雌花鱗片は卵形，長さ3 mm，鋭頭，無芒，淡色；のう苞は膜質，卵披針形，長さ4—5 mm，両凸形，円脚，有脉，無毛，有翼，長嘴，口辺2裂；果は両凸レンズ形，長さ2 mm；柱頭2。ホスゲ節 (Sect. *Deweyanae*) に属し，本節の本邦産は本種のみである。本種は本邦特産で，主な産地は，本州：陸中焼山，焼石岳，白馬岳，立山，乗鞍岳，加賀白山，飛騨御岳等の高山草地である。タテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。

#### 15. *Carex lyngbyei* HORN. ヤラメスゲ (Map-XV.)

根茎は有匍枝，；茎は高さ30—100 cm，粗渋；基部鞘葉は赤紫色，網状細裂；葉は巾6—7 mm，裏面粉白色；小穂は3—6，頂小穂雄花，長さ2.5—4 cm，側小穂雌花，又は頂部雄花，基部雌花，長梗，垂下，長さ4—5.5 cm；雌花鱗片は卵披針形，長さ5 mm，鋭頭，無芒，赤紫色；のう苞は草質，柱状広卵形，長さ3.5 mm，平凸形，膨大，表面乳嘴突起疎布，微脉，無毛，有嘴，口辺2裂せず；柱頭2。アゼスゲ節 (Sect. *Carex*) 中のヤラメスゲ亜節 (Subsect. *Cryptocarpae*) に属し，本亜節には本邦産4種1変種が含まれる。各々の分布はヒメウシオスゲ (*C. subspathacea*) が欧州，シベリヤから千島，樺太を経て北海道に分布 (Distr. Type VIII.) ウシオスゲ (*C. salina*) も同じ分布型であるが，「樺太—北海道」の連絡と思われる。また，ホルムイスゲ (*C. middendorffii* var. *middendorffii*) はミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。これに対して本種は北欧，シベリヤ，カムチャッカ，満州，北米に分布し，本邦へは「樺太・千島＞北海道—本州」の連絡が考えられる。本邦に於ける主な産地は，北海道：浜頓別，厚岸，大雪山，網走，釧路，白老，本州：青森県十三湖，八甲田山，八幡平，鳥海山，妙高山，石川県医王山等で，タテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。

#### 16. *Carex middendorffii* FR. SCHM. var. *middendorffii* ホルムイスゲ (Map-XVI.)

根茎は簇生，茎は高さ20—70 cm，平滑；基部鞘葉は褐色，鱗片状；葉は巾2—3 mm，裏面粉白色；小穂は3—5，頂部1—3雄花，長さ約2.5 cm，側小穂は頂部雄花，基部雌花，長梗，垂下，長さ2 cm；雌花鱗片は長卵形，長さ4 mm，鋭頭，短芒，赤紫色—赤褐色；のう苞は厚膜質，柱状卵形—広円形，長さ4—6 mm，両凸形，膨大，短柄あり，表面乳嘴突起密布，赤褐色斑点あり，有脉，無毛，有嘴，口辺2裂せず；柱頭2。本種の変種オニアゼスゲ (var. *kirigaminensis*) は雌小穂が柱状で長さ2—4 cmあり，基本変種の小穂に比し細長で短梗，直立する点で異なり，分布地は樺太，千島，北海道 (利尻)，本州 (霧ヶ峯) で極限されている。これに対して本基本変種の分布はカムチャッカ，樺太，千島から北海道に及び，「樺太・千島＞北海道—本州」の連絡が考えられる。本邦に於ける主な産地は北海道：浜頓別，大雪山沼ノ原，白老，本州：八甲田山，八幡平，秋田県田代山，日光，霧ヶ峯等で，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

#### 17. *Carex doenitzii* Böck. var. *doenitzii* コタヌキラン (Map-XVII)

根茎は簇生；茎は高さ20—60 cm，粗渋；基部鞘葉は赤紫色，鱗片状；葉は巾3—4 mm；小穂

は2—4, 頂小穂雄花, 長さ1.5—2 cm, 側小穂雌花, 有梗, 垂下, 長さ1.5—2 cm; 雌花鱗片は卵披針形, 長さ5—9 mm, 鋭頭, 長芒, 赤紫色; のう苞は膜質, 柱状卵形, 長さ3—7 mm, 扁圧両凸形, 表面微脉, 赤紫色斑点あり, 有嘴, 口辺2深裂, 小刺毛密布; 柱頭2。タヌキラン節 (Sect. *Podogynae*) に属し, 本節の分布については本誌1号に既述した。本種は本邦特産で, 主な産地は北海道: 根室羅臼岳, 本州: 八甲田山, 八幡平, 岩手山, 盛岡, 早池峯山, 鳥海山, 焼石岳, 蔵王山, 月山, 磐梯山, 日光, 苗場山, 立山, 上高地, 八ヶ岳, 赤石山, 富士山, 浅間山等でミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

18. *Carex scitaeformis* Kükenth. マシケスゲモドキ (Map-XVIII.)

根茎は簇生, 茎は高さ40—120 cm, 粗渋; 基部鞘葉は赤紫色, 鱗片状; 葉は巾7—12 mm, 裏面粉白色; 小穂は4—6, 頂部2—3は雄花, 長さ3—4 cm, 側小穂は雌花, 短梗, 直立又は垂下, 長さ2—3 cm; 雌花鱗片は狭柱状, 長さ5 mm, 鈍頭, 有芒, 赤紫色; のう苞は膜質, 狭卵形, 長さ6 mm, 両凸形, 扁平, 基部長柄あり, 表面無脉, 赤紫色斑点あり, 小刺毛疎布, 短嘴, 口辺2浅裂; 柱頭2。タヌキラン節 (Sect. *Podogynae*) に属し, 本邦特産種である。主な産地は本州: 陸中若柳村, 吾妻山, 山形県宇津峠, 湯殿山, 新潟県駒ヶ岳, 妙高山, 福井県今庄等でタテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。

19. *Carex augustinowiczii* Meinh. ヒラギシスゲ (Map-XIX.)

根茎は簇生, 茎の高さ20—50 cm, 粗渋; 基部鞘葉は黄褐色, 鞘状; 葉は巾3—4 mm, 裏面粉白色; 小穂は4—6, 頂小穂は雄花, 又は頂部雌花, 下部雄花, 長さ1.5 cm; 側小穂は雌花, 無梗, 直立, 長さ1.2—3 cm; 雌花鱗片は卵柱状, 長さ3 mm, 鋭頭, 無芒, 赤紫色; のう苞は膜質, 長だ円卵形, 長さ3—3.5 mm, 平凸形, 膨大, 表面無脉, 無毛, 有嘴, 口辺斜形, 2裂せず; 柱頭3。クロボスゲ節 (Sect. *Atratae*) に属し, 本節には本邦産は9種含まれる。各々の分布型はナルコスゲ (*C. curvicollis*) が本邦特産種で本邦での分布は広く, カサスゲ型 (Distr. Type I.), クロボスゲ (*C. atrata*) は欧州, 満州, 朝鮮, 樺太に分布し, 本州中部に連絡し, 分布型は (Distr. Type IV. C), キンチャクスゲ (*C. mertensii* var. *urostachys*) はタテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.), タルマイスゲ (*C. buxbaumii*) とシャリスゲ (*C. sharensis* var. *sharensis*) は北海道にのみ分布するが (Distr. Type VIII.) シャリスゲは本邦特産種であるのに対し, タルマイスゲは欧州, シベリヤ, 北米, アフリカ, 濠州から千島—北海道に分布している。センジョウスゲ (*C. lehmanni*) はヒマラヤ, ネパール, 朝鮮から本州中部 (仙丈岳) へ分布する (Distr. Type X.)。ネムロスゲ (*C. gmelini*), シラカワスゲ (*C. meyeriana*) は本種と同じくミタケスゲ型の分布をするが, シラカワスゲは満州, アムール, シベリヤ, 「朝鮮—九州—本州」の連絡があり, ネムロスゲはアムール, カムチャッカ, アラスカ, 北米にも分布し, 「樺太—千島」>北海道—本州」の連絡があると思われる。これに対し, 本種の分布は満州, シベリヤ, 朝鮮に及び, ネムロスゲと同じ分布様式をすると思われる。本邦に於ける主な産地は, 北海道: 北見富士, 夕張, 札幌, 空沼岳, 銭函峠, 小樽, 本州: 焼石岳, 羽前堀田村, 蔵王山, 尾瀬原, 上高地, 八ヶ岳, 北沢峠, 赤石山, 甲斐仙水峠等で, ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

20. *Carex mertensii* PRESC. var. *urostachys* KÜKENTH. キンチャクスゲ (Map-XX.)

根茎は簇生；茎の高さ30—60 cm，粗渋；基部鞘葉は褐色，鱗片状；葉は巾3—5 mm，裏面粉白色；小穂は4—8，各小穂は上部雌花，基部少数雄花，有梗，垂下，長さ2—2.5 cm；雌花鱗片は柱状卵形，長さ5 mm，鋭頭，有芒，赤紫色；のう苞は膜質，卵形，長さ5 mm，扁平，短嘴，口辺2裂せず；柱頭3。クロボスゲ節 (Sect. *Atratae*) に属し，「千島—北海道—本州」の連絡があり，本邦に於ける主な産地は，北海道：斜里岳，大雪山，夕張岳，十勝岳，ニセコアンヌプリ，本州：青森県岩木山，八甲田山，八幡平，早池峯山，鳥海山，栗駒山，白馬岳，立山，加賀白山等で，タテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。

21. *Carex angustisquama* FRANCH. ヤマトヌキラン (Map-XXI.)

根茎は簇生；茎は高さ20—50 cm，粗渋；基部鞘葉は赤褐色，鱗片状；葉は巾3 mm；小穂は4—5，頂小穂雄花，長さ1.5 cm，側小穂は雌花，有梗，垂下，長さ1—2.5 cm；雌花鱗片は柱状卵形，長さ4 mm，鈍頭，短芒，赤紫色；のう苞は膜質，卵形，長さ5—6 mm，扁平，基部収縮して短柄，表面微脉，赤紫色斑点あり，無毛，短嘴，口辺2浅裂；柱頭2。マシケスゲ節 (Sect. *Scitae*) に属し，本節には本邦産は8種3変種が含まれる。各々の分布はシコタンスゲ (*C. scabrinervia*) が樺太と千島から北海道に分布，エゾタヌキラン (*C. flavocuspis* var. *brevis-aristata*) が「千島—北海道」の連絡で，いずれも Distr. Type VIII. である。他はすべて本邦特産であり，アポイタヌキラン (*C. apoiensis*) は北海道のみ，サドスゲモドキ (*C. pseudosadoensis*) とオオタヌキラン (*C. caudatifrons*) は本州で分布地が極限されており，ミヤマクロスゲ (*C. flavocuspis* var. *flavocuspis*)，チャイロタヌキラン (*C. flavocuspis* var. *platycarpa*)，ミヤマアシボソスゲ (*C. scita* var. *scita*)，リシリスゲ (*C. scita* var. *riishirensis*) は本種と同じ分布型である。本種の本邦に於ける主な産地は本州：青森県恐山，八幡平，岩手山，陸中鳴子温泉，焼山，蔵王山，吾妻山，須川岳，磐梯山等で，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

22. *Carex flavocuspis* FRANCH. et SAVAT. var. *flavocuspis* ミヤマクロスゲ (Map-XXII.)

根茎は有匍枝，横走又は下降；茎は高さ20—50 cm，平滑；基部鞘葉は茶褐色，繊維状細裂；葉は巾4—5 mm；小穂は3—5，頂小穂雄花，長さ2 cm，側小穂雌花，有梗，垂下，長さ2.5—3 cm；雌花鱗片は卵披針形，長さ3—4 mm，鋭頭，有芒，赤紫色—黒紫色；のう苞は膜質，長だ円卵形，長さ4—5 mm，扁平，表面顕著脉，赤紫色斑点あり，無毛，短嘴，口辺2裂せず；柱頭3。マシケスゲ節 (Sect. *Scitae*) に属し，本邦特産で，主な産地は，北海道：大雪山，羊蹄山，本州：八甲田山，鳥海山，月山，白馬岳，立山，乗鞍岳，八ヶ岳，赤石山，木曽御岳等で，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

23. *Carex limosa* L. ヤチスゲ (Map-XXIII.)

根茎は有匍枝，匍匐する；茎は高さ20—40 cm粗渋；基部鞘葉は赤紫色，鞘状，葉は巾1—2 mm，裏面粉白色；小穂は2—3，頂小穂は雄花，長さ2—3 cm，側小穂は頂部雄花，基部雌花，長梗，垂下，長さ1—1.5 cm；雌花鱗片は卵形—狭だ円形，長さ5 mm，鋭頭，短芒，茶褐色—赤褐色；のう苞は厚膜質，卵形，長さ3—4 mm，短柄，表面乳嘴突起密布，有脉，無毛，短嘴，口辺2裂せず；柱頭3。ヤチスゲ節 (Sect. *Limosae*) に属し，本節は本邦産4種を含み，

各々の分布型はダケスゲ (*C. paupercula*) がタテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.), ムセンスゲ (*C. livida*) はカムチャッカ, ソ連, アラスカ, 北米, 北欧, 朝鮮にも分布し, 「千島—北海道」の連絡がある。イトナルコスゲ (*C. laxa*) はシベリヤ, 北欧, 朝鮮に分布, 「千島—北海道—本州」の連絡があり, ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。これに対し, 本種は北極を圍繞する寒冷湿地に広く分布し, 本邦への連絡は「樺太—千島—北海道—本州」が考えられる。本邦に於ける主な産地は, 北海道: 根室風蓮湖, 斜里, 厚岸, 落石, 大雪山, 美唄, 白老, 本州: 八甲田山, 八幡平, 焼石岳, 陸中渋民村, 吾妻山, 尾瀬沼, 苗場山, 乗鞍岳, 霧ヶ峯, 木曽御岳, 但馬氷ノ山等でミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

#### 24. *Carex paupercula* Мичх. ダケスゲ (Map-XXIV.)

根茎は有匍枝, 匍匐; 茎は高さ20—40 cm, 平滑; 基部鞘葉は黄褐色, 鱗片状; 葉は巾1—2 mm, 裏面粉白色; 小穂は3—4, 茎頂部に接近して生ず, 頂小穂雄花, 長さ0.5—1 cm, 側小穂は雌花, 長梗, 垂下, 長さ0.7—1 cm; 雌花鱗片は柱状卵形, 長さ3 mm, 鋭頭, 赤紫色—赤褐色; のう苞は厚膜質, 卵形, 長さ2.5—3 mm, 基部短柄, 表面乳嘴突起密布, 無脉, 無毛, 無嘴, 口辺2裂せず; 柱頭3。ヤチスゲ節 (Sect. *Limosae*) に属し, 北極圍繞ミズゴケ湿地に分布, 「朝鮮, 千島—北海道—本州」の連絡がある。本邦に於ける主な産地は, 北海道: 根室落石, 浜頓別, 本州: 陸中上ノ岳, 尾瀬原, 越後火打山, 妙高山, 白馬岳, 加賀白山等でタテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。

#### 25. *Carex stenantha* FRANCH. et SAVAT. var. *stenantha* イワスゲ (Map-XXV.)

根茎は簇生; 茎は高さ15—40 cm, 平滑; 基部鞘葉は褐色, 微に繊維状細裂; 葉は巾2—3 mm; 小穂は3—5, 頂小穂雄花, 側小穂雌花, 有梗, 垂下, 長さ2—4 cm; 雌花鱗片は長だ円形, 長さ5 mm, 鋭頭, 短芒, 赤紫色; のう苞は膜質, 狭披針形, 基部漸尖し長柄, 有脉, 無毛, 長嘴, 口辺2浅裂; 果は狭柱状, 長さ3 mm, 平凸形; 柱頭3。イワスゲ節 (Sect. *Ferrugineae*) に属し, 本節は本邦産10種3変種を含み, 各々の分布は, タイセツイワスゲ (*C. stenantha* var. *laisetsuensis*) がカムチャッカ, 「樺太—北海道」へ連絡, オオイワカンスゲ (*C. warburgiana*), バケイスゲ (*C. shimadai*), チャイロスゲ (*C. fulvorubescens*) が台湾, 琉球に分布, 他はすべて本邦特産である。即ちショウジョウスゲ (*C. blepharicarpa* var. *blepharicarpa*) はカサスゲ型 (Distr. Type I.), ホソミショウジョウスゲ (*C. blepharicarpa* var. *stenocarpa*) はサツマスゲ型 (Distr. Type II.A), イワカンスゲ (*C. makinoensis*), カンサイイワスゲ (*C. glabrior*), コイワカンスゲ (*C. chrysolepis*) はスカスゲ型 (Distr. Type III.), ツクバスゲ (*C. hirtifructus*) は (Distr. Type IV.B), ミヤマイワスゲ (*C. odontostoma*) が九州のみの分布 (Distr. Type IX), タカネショウジョウスゲ (*C. blepharicarpa* var. *dueensis*) は本種と同じ分布型である。本種の本邦に於ける主な産地は本州: 岩手山, 下野白根山, 日光, 立山, 乗鞍岳, 加賀白山, 八ヶ岳, 千枚岳, 富士山, 木曽御岳等でミタケスゲ型 (Distr. Type V) の分布をする。



26. *Carex pilosa* Scop. var. *auriculata* Kükenth. ハナマガリスゲ (Map-XXVI.)

根茎は有匍枝；茎は高さ30—60cm，3稜形，柔軟毛密布；基部鞘葉は赤紫色，鱗片状；葉は巾4—11mm；小穂は2—4，頂小穂は雄花，やや離隔する，長さ1.5—2.5cm；側小穂は雌花，有梗，垂下，長さ2—4cm；雌花鱗片は卵形，長さ4—5mm，鋭頭，赤紫色；のう苞は膜質，卵形，長さ4—6mm，基部収縮し短柄，有脉，無毛，有嘴，嘴は背曲する，口辺2浅裂；柱頭3。

ケヤリスゲ節 (Sect. *Paniceae*) に属し，本節には本邦産は他にケヤリスゲ (*C. vaginata* var. *vaginata*) とサヤスゲ (*C. vaginata* var. *petersii*) がある。前者は北歐，シベリヤにも分布，「樺太<sup>樺太</sup>千島<sup>千島</sup>」北海道一本州」の連絡があり，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.)，後者は「樺太—北海道一本州」の連絡がある。これに対し本種の分布はウスリー，満州，朝鮮に及び，「樺太—北海道一本州」の連絡があり，本邦に於ける主な産地は，北海道：層雲峡，札幌，手稲山，支笏湖畔，室蘭，函館山，本州：岩手県区界，浅岸村，吾妻山，戸隠高原等で，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

27. *Carex parciflora* Boott グレーンスゲ (Map-XXVII.)

根茎は簇生；茎は高さ20—70cm，平滑；基部鞘葉は褐色，鱗片状；葉は巾3—8mm；小穂は4—5，頂小穂は雄花，長さ1—2cm，側小穂は雌花，有梗，直立，長さ1—2.5cm；雌花鱗片は卵状長だ円形，長さ3—4mm，鋭頭，有芒，淡色；のう苞は膜質，卵状長だ円形，長さ4—5mm，有脉，無毛，有嘴，口辺2浅裂；柱頭3。コジュズスゲ節 (Sect. *Macroglossae*) に属し，本節は本邦産7種3変種を含む。各々の分布は，アリスンタマツリスゲ (*C. arisanensis*) が台湾，琉球に産し，クジュウツリスゲ (*C. kujuzana*) が「朝鮮—九州」の連絡，ホソエノムギスゲ *C. filipes* var. *rouyana*，は中国と本州中部に分布し，Distr. Type IV.C，コジュズスゲ (*C. macroglossa*) は「朝鮮—九州—四国—本州—北海道」の連絡でカサスゲ型 (Distr. Type I.) の分布をする。その他は本邦特産で，分布型はタマツリスゲ (*C. filipes* var. *filipes*) はサツマスゲ型 (Distr. Type II.A)，ヒメジュズスゲ (*C. filipes* var. *tremula*) はヌカスゲ型 (Distr. Type III.)，ヒロハノオオタマツリスゲ (*C. filipes* var. *arakiana*) はササノハスゲ型 (Distr. Type VII)，エゾツリスゲ (*C. papulosa*) はヒロバスゲ型 (Distr. Type I.A)，ナガボノコジュズスゲ (*C. vanioti*) はタテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。本種は「樺太—北海道一本州」の連絡があり，本邦に於ける主な産地は，北海道：札幌，長万部，本州：青森市，八甲田山，八幡平，岩手山，竜ヶ森，陸中浅岸村，須川岳，焼石岳，陸前宮床村，飯豊山，磐梯山，佐渡金北山，日光，尾瀬沼，立山，加賀白山等でミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

28. *Carex vanioti* Lév. ナガボノコジュズスゲ (Map-XXVIII.)

根茎は簇生；茎の高さ20—30cm，平滑；基部鞘葉は褐色，鞘状；葉は巾5—6mm；小穂は4—5，頂小穂は雄花，側小穂は雌花，有梗，直立，長さ1—2cm；雌花鱗片は短柱状，長さ3—4mm，鋭頭，有芒，淡色；のう苞は膜質，卵状だ円形，長さ4.5—5.5mm，3稜形，有脉，無毛，長嘴，口辺2裂せず；柱頭3。コジュズスゲ節 (Sect. *Macroglossae*) に属し，本邦特産種である。本邦に於ける主な産地は，本州：八甲田山，八幡平，岩手山，鳥海山，月山，蔵王山，

焼石岳、飯豊山、立山、加賀白山、越前部子谷等で、タテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。

29. *Carex oederi* RETZ. *viridula* KÜKENTH. エゾサワスゲ (Map.-XXIX.)

根茎は簇生；茎は高さ15—30 cm，平滑；基部鞘葉は褐色，葉状；葉は巾2—4 mm；小穂は3—6，頂小穂は雄花，長さ0.5—1.8 cm，側小穂は雌花，茎頂部に接近，短梗，直立，長さ0.5—1.0 cm；雌花鱗片は卵形，長さ2 mm，鈍頭，赤褐色—黄褐色；のう苞は開出，やや背曲，厚膜質，広倒卵形，長さ2.5 mm，平凸形，有脉，無毛，有嘴，口辺2裂；柱頭3。エゾサワスゲ節 (Sect. *Extensae*) に属し，本節には本邦産は他にヒメサワスゲ (*C. oederoides*) があり，その分布は北海道 (奥尻島) のみである。本種の分布は北米，カムチャッカに及び，「樺太千島」>北海道一本州」の連絡がある。本邦に於ける主な産地は，北海道：根室落石，勇払，白老，苫小牧，本州：盛岡，岩手県厨川村，渋民村，長野県大蛇ヶ池等で，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

30. *Carex planiculmis* KOMAR. ヒカゲシラスゲ (Map-XXX.)

根茎は有匍枝，匍匐する；茎は高さ40—60 cm，粗渋；基部鞘葉は褐色，鱗片状；葉は巾7—12 mm；小穂は4—5，頂小穂は雄花，長さ2.5—4 cm，側小穂は雌花，茎頂部に接近し，最下小穂のみやや離隔，短梗，直立又は垂下，長さ2.5—4 cm；雌花鱗片は卵形—長だ円形，長さ2.5—3 mm，鋭頭，淡色—緑色；のう苞は膜質，柱状卵形，長さ5 mm，膨大3稜形，開出，有脉，無毛，長嘴，嘴はやや彎曲，口辺斜形；柱頭3。ヒゴクサ節 (Sect. *Molliculae*) に属し，本節には本邦産は7種含まれ，各々の分布は，ヒメシラスゲ (*C. mollicula*) が中国，台湾，朝鮮に産し，「樺太千島」>北海道一本州—四国—九州」の連絡，サワスゲ (*C. aphanolepis*) は「朝鮮—九州—四国—一本州—北海道」の連絡，ヒゴクサ (*C. japonica*) は満州，中国にも産し，サワスゲと同じ連絡と思われる。上記3種の分布型はカサスゲ型 (Distr. Type I)，シラスゲの分布様式はヒゴクサと同じと思われるが分布型はサツマスゲ型 (Distr. Type II.A)，アイノコシラスゲ (*C. pseudoaphanolepis*)，ミヤマヒゴクサ (*C. japonicaeformis*) は本邦特産で本州中部に産する。本種の分布はウスリー，満州，朝鮮に及び「樺太—北海道—一本州」の連絡があり，本邦に於ける主な産地は，北海道：根室落石，大雪山，中山峠，本州：早池峯山，蔵王山，陸前五葉山，日光，八ヶ岳，信濃駒ヶ岳，北沢峠，信濃川上村，山梨三富村，駿河千枚岳，飛騨蒲田等で，ミタケスゲ型 (Distr. Type V) の分布をする。

31. *Carex vesicaria* L. オニナルコスゲ (Map-XXXI.)

根茎は長匍匐；茎は高さ30—100 cm，粗渋；基部鞘葉は赤褐色，鱗片状，葉は巾4—11 mm；小穂は頂部2—3雄花，長さ2—3 cm，他は雌花，短梗，直立又は垂下，長さ3—4.5 cm；雌花鱗片は披針形，長さ3—5 mm，鋭頭，赤紫色；のう苞は厚膜質，卵状円錐形，長さ8—10 mm，膨大，有脉，無毛，長嘴，口辺2深裂；柱頭3。オニナルコスゲ節 (Sect. *Physocarpae*) に属し，本節には本邦産は3種1変種が含まれ，各々の分布は，ホロムイクグ (*C. tsuishikarensis*) が「千島—北海道—一本州」の連絡，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) で，本種及びオオカサスゲ

と同じ分布型の分布をする。また、ホソボナルコスゲ (*C. vesicaria* var. *temuistachya*) は「千島—北海道」の連絡がある。本種の分布は欧州、北米、朝鮮に及び、「樺太—千島—北海道—本州」の連絡をし、本邦に於ける主な産地は、北海道：根室落石、斜里、札幌、白老、本州：青森県松原湖、八甲田山、八幡平、岩手山、男鹿半島、山形市、羽前東根、軽井沢、霧ヶ峯、越後刈羽村、東京戸田原、越前敦賀等でミタケスゲ型 (Distr. Type V) の分布をする。

### 32. *Carex rhynchophysa* C. A. MEYER オオカサスゲ (Map-XXXII.)

根茎は有匍枝、横走；茎は高さ60—100 cm、粗波；基部鞘葉は赤紫色、鞘状；葉は巾8—15 mm；小穂は5—12、頂部3—7雄花、長さ3—7 cm、下方2—7は雌花、有梗、直立、又は垂下、長さ5—10 cm；雌花鱗片は卵状円形、長さ5—6 mm、鋭頭、無芒、褐色；のう苞は厚膜質、卵形、長さ5—6 mm、膨大、開出、基部短柄、平滑、多数脉、有嘴、口辺2裂；柱頭3。オニナルコスゲ節 (Sect. *Physocarpae*) に属し、分布は満州、カムチャッカ、シベリヤ、欧州、朝鮮に及び、「樺太—千島—北海道—本州」の連絡がある。本邦に於ける主な産地は、北海道：大雪山、支笏湖畔、白老、倶知安、本州：八甲田山、八幡平、陸中西山村、竜ヶ森、焼石岳、船形山、飯豊山、尾瀬沼、日光、上野野反池、蓼科山、越前石徹白村等でミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

### 33. *Carex verna* CHAIX. var. *microtricha* OHWI チャシバスゲ (Map-XXXIII.)

根茎は有匍枝；茎は高さ10—40 cm、平滑；基部鞘葉は褐色、繊維状細裂；葉は巾1—2.5 mm；小穂は2—4、茎頂部に互に接近、頂小穂雄花、長さ1—2.5 cm；側小穂雌花、有梗、直立、長さ1—2 cm；雌花鱗片は卵形—長だ円形、長さ3—4.5 mm、鋭頭、褐色；のう苞は膜質、倒卵形、長さ3 mm、膨大3稜形、微脉、短毛疎布、短嘴、口辺2裂せず；果は倒卵形、長さ2—3 mm；柱頭3。ヌカスゲ節 (Sect. *Praecoces*) 中のシバスゲ亜節 (Subsect. *Nervatae*) に属し、本亜節は本邦産6種3変種を含む、各々の分布は、シバスゲ (*C. nervata*) が満州、シベリヤに産し、「朝鮮—九州—四国—本州—北海道」の連絡、分布型はカサスゲ型 (Distr. Type I.)、マメスゲ (*C. pudica*) は本邦特産、ノゲヌカスゲ (*C. mitrata* var. *aristata*) は台湾にも分布、分布型は両者共にサツマスゲ型 (Distr. Type II.A) である。また、ヌカスゲ (*C. mitrata*) は「朝鮮—九州—四国—本州」の連絡、ヌカスゲ型 (Distr. Type III), ツルカミカワスゲ (*C. saby-nensis* var. *rostrata*) は本邦特産で本州中部に産し、カミカワスゲ (*C. saby-nensis* var. *saby-nensis*) はシベリヤ、満州、樺太、千島から本邦へ連絡、クモマシバスゲ (*C. subumbellata* var. *verecunda*) は本邦特産、分布型は両者共ミタケスゲ型 (Distr. Type V.), ミヤケスゲ (*C. subumbellata* var. *subumbellata*) は「樺太—北海道」の連絡である。これに対し、本種はシベリヤ、朝鮮にも分布し、「樺太—千島—北海道—本州」の連絡があり、本邦での主な産地は、北海道：釧路、宗谷岬、利尻島、根室厚床、十勝池田町、石狩、銭函峠、苫小牧、本州：八甲田山、青森市、早池峯山、竜ヶ森、山形市、男鹿半島、陸前高田、信濃川上、加賀白山等でタテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。

34. *Carex jacens* C. B. CLARKE var. *jacens* ハガクレスゲ (Map-XXXIV)

根茎は簇生；茎は高さ7—20 cm, 粗渋；基部鞘葉は褐色，微に繊維状細裂；葉は巾2—3 mm；小穂は4—7，頂小穂雄花，長さ0.5 cm，側小穂は雌花，上方のもの互に接近，最下1—2は根生，短梗，直立，長さ0.7—1.5 cm；雌花鱗片は卵形，長さ2—2.5 mm，鋭頭，有芒，淡色—緑色；う苞は膜質，長だ円紡錘形，長さ3 mm，有脉，無毛，基部短柄，短嘴，口辺2浅裂；果は長だ円形，長さ3 mm，有柄，3稜形，小盤状嘴あり；柱頭3。ヌカスゲ節 (Sect. *Praecoces*) 中のアオスゲ亜節 (Subsect. *Leucochlorae*) に属し，「千島—北海道—本州」の連絡があり，本邦での主な産地は，北海道：大雪山，中山峠，支笏湖畔，本州：岩木山，八甲田山，八幡平，早池峯山，鳥海山，月山，須川岳，尾瀬原，妙高山，加賀白山，木曽御岳，安芸立鳥帽子岳等でミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

35. *Carex puberula* BOOTH イトアオスゲ (Map-XXXV.)

根茎は短匍枝あり；茎は高さ10—40 cm, 粗渋；基部鞘葉は褐色，繊維状細裂；葉は巾1—3 mm；小穂は3—5，頂小穂は雄花，側小穂は雌花，短梗，直立，長さ0.8—1.0 cm；雌花鱗片は柱状卵形，長さ2—3 mm，鋭頭，有芒，淡色；う苞は膜質，球状卵形，長さ3 mm，有脉，短毛疎布，基部短柄，短嘴，口辺2浅裂；果は卵形，長さ2 mm，3稜形，小盤状嘴を頂生；柱頭3。ヌカスゲ節 (Sect. *Praecoces*) 中のアオスゲ亜節 (Subsect. *Leucochlorae*) に属し，本亜節は本邦産10種3変種を含み，各々の分布型はクサスゲ (*C. rugata*)，アオスゲ (*C. leucochlora*)，ハマアオスゲ (*C. fibrillosa*) の3種がカサスゲ型 (Distr. Type I)，ヒメアオスゲ (*C. discoidea*) がササノハスゲ型 (Distr. Type VII.)，前記ハガクレスゲと本種がミタケスゲ型 (Distr. Type V.) で，他は分布地極限されている。本種の分布は満州，朝鮮，樺太に及び，本邦に於ける主な産地は，北海道：宗谷岬，浜頓別，短床半島，夕張岳，札幌，摩周湖畔，白老，長万部，室蘭，函館山，本州：青森市，八幡平，岩手山，弥彦山，佐渡金北山，秋田市，磐梯山等で，ミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布である。

36. *Carex cuneata* OHWI ミチノクホンモンジスゲ (Map-XXXVI.)

根茎は有匍枝；茎は高さ25—30 cm, 粗渋；基部鞘葉は褐色，鱗片状；葉は巾1.5—2 mm；小穂は3—5，頂小穂は雄花，長さ1.5—3 cm，側小穂は雌花，短梗，直立，長さ1—2 cm；雌花鱗片は倒卵形，長さ2.5—3 mm，鋭頭，短芒，褐色；う苞は膜質，卵形，長さ3.5 mm，平凸形，長柄あり，有脉，短毛疎布，有嘴，口辺2浅裂；果は広卵形，長さ1.5 mm，平凸形，小盤状嘴頂生，柱頭3。ヌカスゲ節 (Sect. *Praecoces*) 中のホンモンジスゲ亜節 (Subsect. *Pisiformes*) に属し，本亜節は本邦産20種11変種を含む。本種は本邦特産種で，その主な産地は，本州：青森県四和村，八甲田山，秋田市，陸中渋民村，山形市，米沢，鳥海山，弥彦山，陸前笹ノ田峠，上野天神峠，岩代桧沢村，尾瀬原，金沢市等でタテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。

37. *Carex sachalinensis* FR. SCHM. var. *sachalinensis* ゴンゲンスゲ (Map-XXXVII.)

根茎は有匍枝；茎は高さ15—30 cm, 平滑；基部鞘葉は黄褐色，繊維状細裂；葉は巾1—2 mm；小穂は2—4，頂小穂は雄花，側小穂は雌花，有梗，直立，長さ1.5—2.5 cm；雌花鱗片は卵形，

長さ2.5—3 mm, 鋭頭, 淡色; のう苞は膜質, 長だ円卵形, 長さ2.5—3 mm, 平凸形, 短柄あり, 有脉, 短毛疎布, 有嘴, 口辺2裂せず; 柱頭3。ヌカスゲ節, ホンモンジスゲ亜節に属し, 「樺太<sup>樺太</sup>千島<sup>千島</sup>>北海道一本州」の連絡がある。本邦の主な産地は, 北海道: 知床半島, 釧路厚岸, 大雪山, 雌阿寒岳, 手稲山, 本州: 蔵王山, 石裂山, 尾瀬原, 日光, 軽井沢, 八ヶ岳, 箱根, 甲斐三ツ峠, 等でミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

38. *Carex temnolepis* FRANCH. ホソバカンスゲ (Map-XXXVIII.)

根茎は下降し, 有匍枝; 茎は高さ17—30 cm, 粗渋; 基部鞘葉は赤紫色, 著しく繊維状細裂; 葉は巾3—4 mm; 小穂は4—5, 頂小穂は雄花, 長さ2.5—3 cm, 側小穂は雌花, 短梗, 直立, 長さ1—2 cm; 雌花鱗片は卵状長だ円形, 長さ2 mm, 鋭頭, 赤紫色—赤褐色; のう苞は膜質, 卵だ円形, 長さ2.5—3 mm, 短柄あり, 有脉, 無毛, やや長嘴, 嘴は背曲する, 口辺2浅裂; 柱頭3。ヌカスゲ節 (Sect. *Praecoces*) 中のオクノカンスゲ亜節 (Subsect. *Foliosissimae*) に属し, 本亜節には本邦産は6種3変種が含まれる。各々の分布は, ヒメカンスゲ (*C. conica*) は「朝鮮—九州—四国—本州—北海道」の連絡, オクノカンスゲ (*C. foliosissima* var. *foliosissima*) は「樺太—北海道—本州—九州」の連絡で, いずれもカサスゲ型の分布をする。他はすべて本邦特産でカンスゲ (*C. morrowii* var. *morrowii*) がサツマスゲ型 (Distr. Type II.A), オオシマカンスゲ (*C. oshimensis*), オクシリカンスゲ (*C. okushirensis*), ヤクシマカンスゲ (*C. morrowii* var. *laxa*) は分布地が極限されている。ハバビロスゲ (*C. foliosissima* var. *latissima*) はササノハスゲ型 (Distr. Type II.A) である。これに対し, 本種は本州のみの分布で主な産地は, 焼石岳, 佐渡金北山, 蔵王山, 山形県朝日岳, 黒姫山, 黒部祖母谷, 蓼科山, 石川県宝達山, 加賀白山, 福井県勝山, 敦賀, 近江比良山, 大江山, 青葉山等でタテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) である。

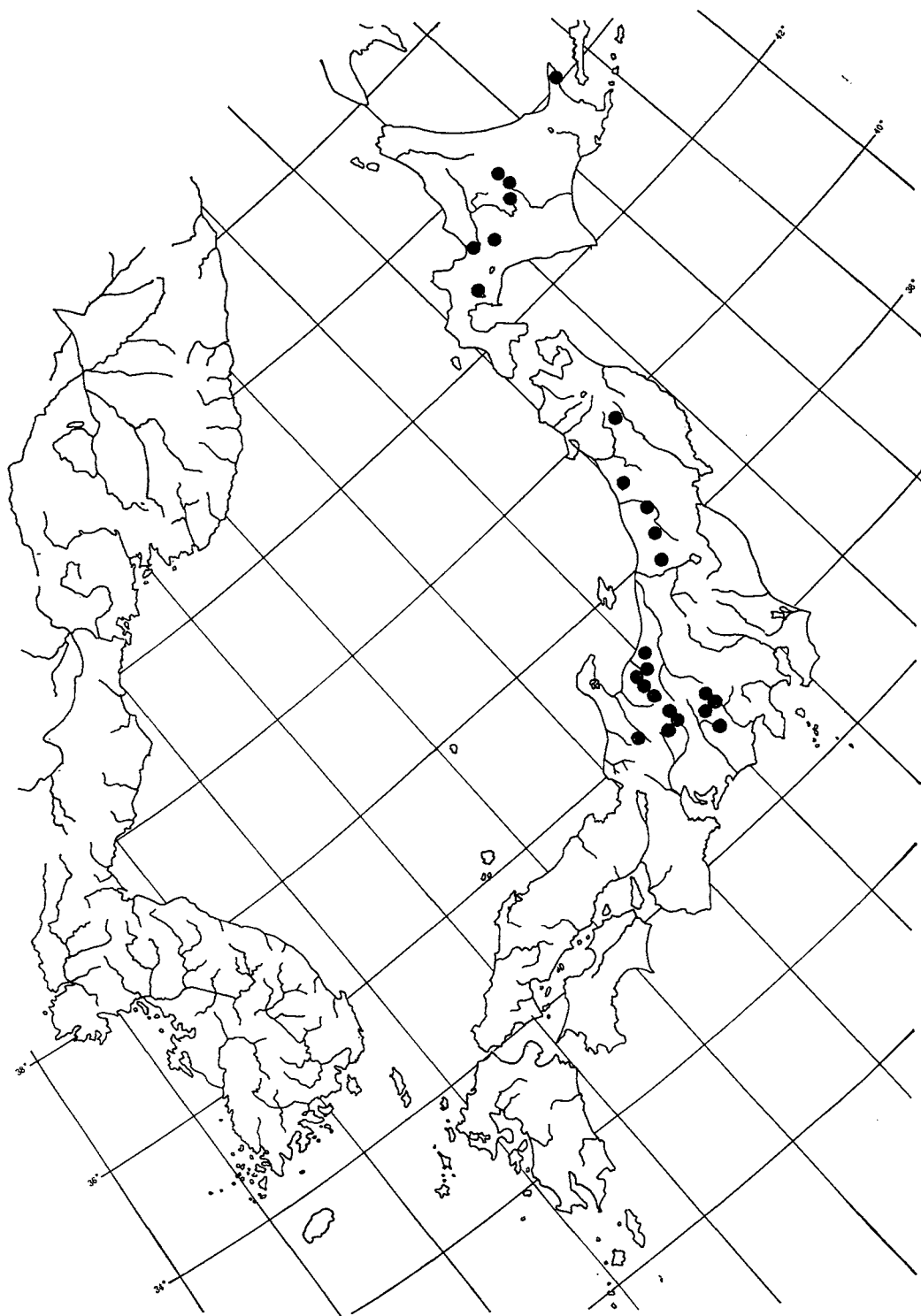
39. *Carex longerostrata* C. A. MEY. var. *longerostrata* マツマエスゲ Map-XXXIX.)

根茎は有匍枝, 横走; 茎は高さ20—40 cm; 基部鞘葉は黒褐色, 繊維状細裂著しい; 葉は巾1—2 mm; 小穂は3—6, 頂小穂は雄花, 側小穂は雌花, 短梗, 直立, 長さ1—1.5 cm; 雌花鱗片は卵だ円形, 長さ7 mm, 鈍頭, 有芒; のう苞は厚膜質, 球卵形, 長さ7 mm, 膨大, 基部短柄あり, 有脉, 短毛疎布, 細長嘴, 口辺2深裂; 柱頭3。ヒエスゲ節 (Sect. *Rhomboidales*) に属し, その分布はシベリヤ, カムチャッカ, 満州, 朝鮮に及び, 「樺太<sup>樺太</sup>千島<sup>千島</sup>>北海道一本州」の連絡がある。本邦に於ける主な産地は, 北海道: 宗谷岬, 知床半島, 根室落石, 厚岸, 十勝池田町, 藻岩山, 白老, 室蘭, 本州: 陸中新山, 姫神山, 八ヶ岳, 霧ヶ峯, 陸前水上山, 甲斐三ツ峠等でミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。

40. *Carex lasiocarpa* EHRH. var. *occultans* KÜKENTH. ムジナスゲ (Map-XL.)

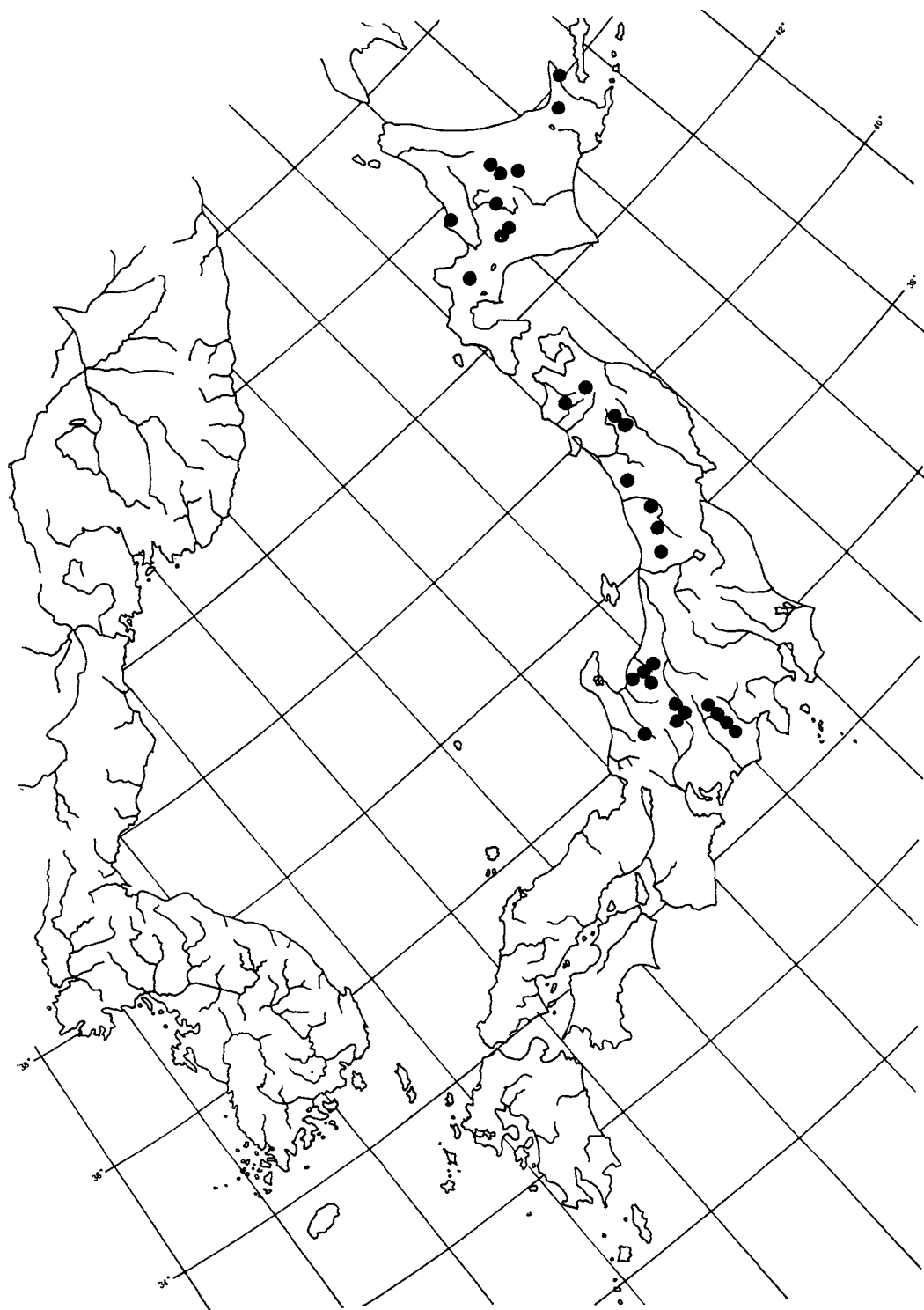
根茎は有匍枝, 横走; 茎は高さ60—100 cm, 3稜形粗渋; 基部鞘葉は赤紫色, 鱗片状; 葉は巾2—4 mm; 小穂は3—5, 頂部1—2は雄花, 長さ2—5 cm, その他小穂は雌花, 短梗, 直立, 長さ1—4 cm; 雌花鱗片は卵状長だ円形, 長さ3.5—5 mm, 鋭頭, 短芒; のう苞は草質, 卵形,

長さ3.5—4.5 cm, 平凸形, 有脉, 小剛毛密布, 短嘴, 口辺2裂; 柱頭3。ピロードスゲ節 (Sect. *Hirtae*) に属し, 本節は本邦産5種を含む。各々の分布は マツマエスゲ (*C. ligulata* var. *ligulata*) が中国, ヒマラヤ, セーロン, 印度に及び, サツマスゲ型 (Distr. Type II.A), ピロードスゲ (*C. miyabei*) が本邦特産でヒロバスゲ型 (Distr. Type I.A), アカンカサスゲ (*C. drymophila* var. *akanensis*) は満州, ソ連, 朝鮮にも分布し, 樺太—北海道の連絡, ハタベスゲ (*C. latisquamea*) は満州, 朝鮮に産し, 本邦ではミタケスゲ型 (Distr. Type V.) の分布をする。これに対し, 本種はソ連, 樺太に分布し, 「樺太—北海道—本州」の連絡で, 本邦に於ける主な産地は, 北海道: 浜頓別, 根室落石, 厚岸, 斜里, 勇払, 白老, 本州: 八幡平, 岩手山, 羽前赤湯, 白竜湖, 新潟市, 陸中柳沢, 尾瀬原, 石川県医王山, 等でタテヤマスゲ型 (Distr. Type VI.) の分布をする。



Map-VII. *Carex pyrenaica* WAHL. var. *pyrenaica*

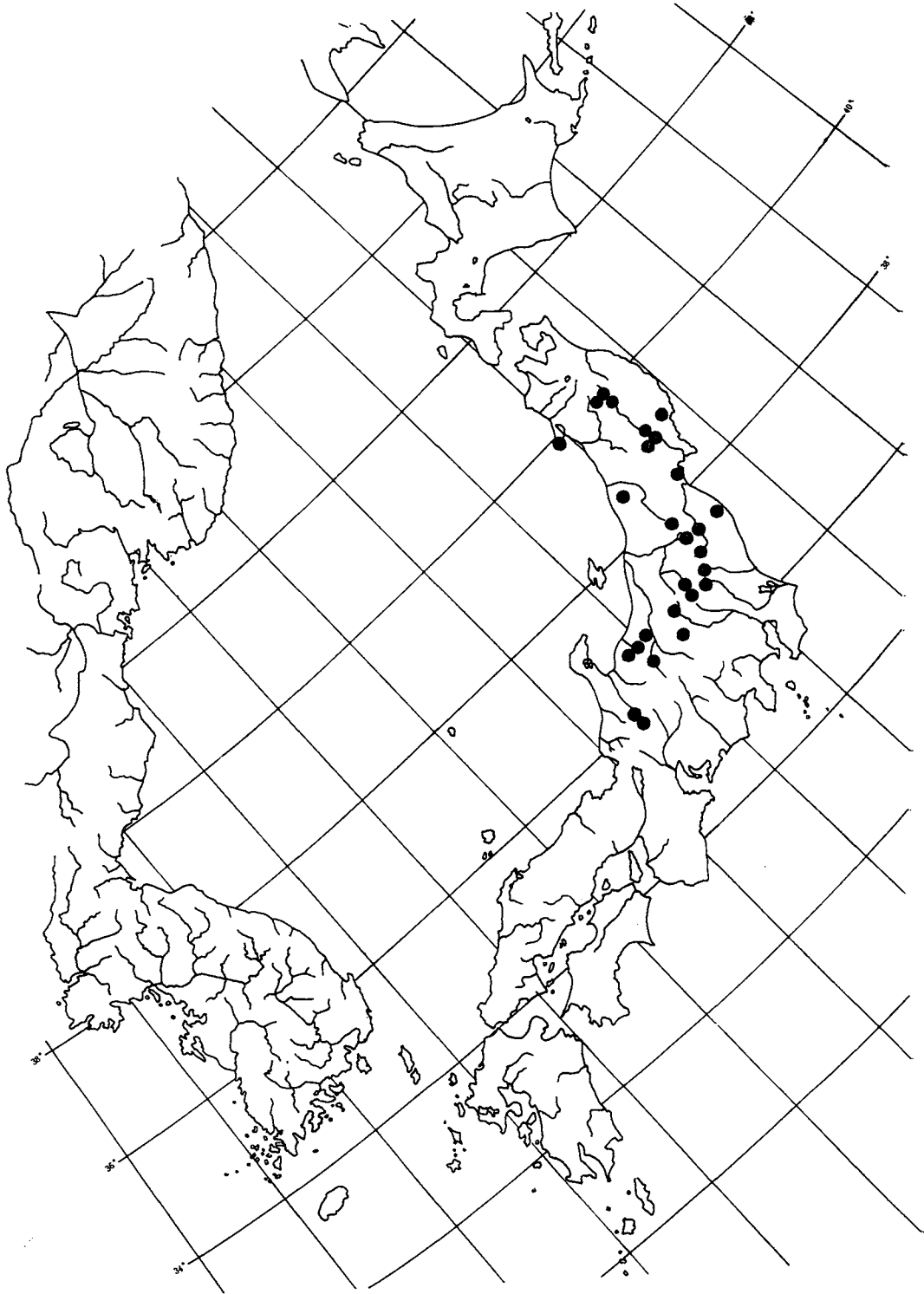
キンスゲ



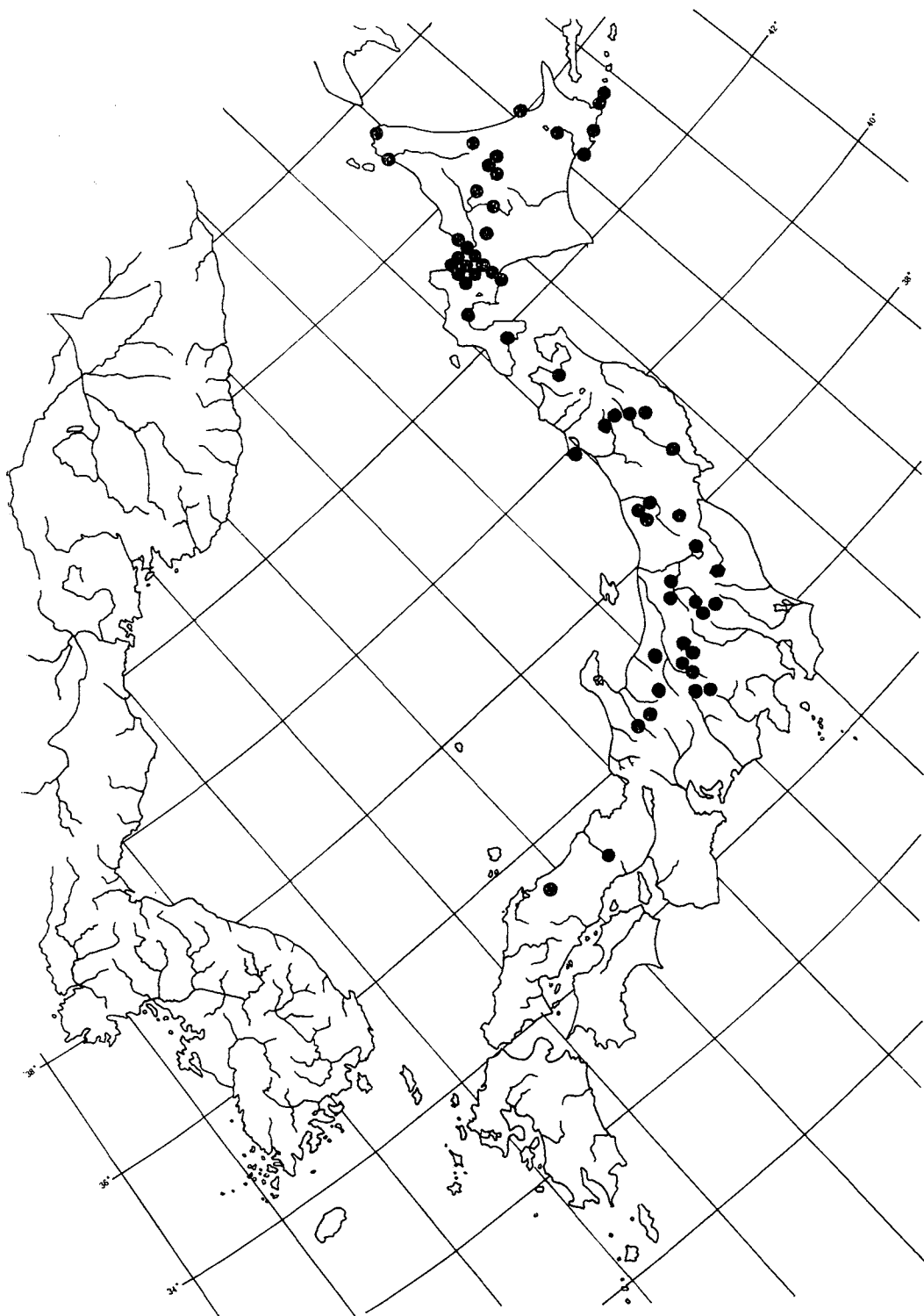
Map-VIII. *Carex hakkodensis* FRANCH.

イトキンスゲ



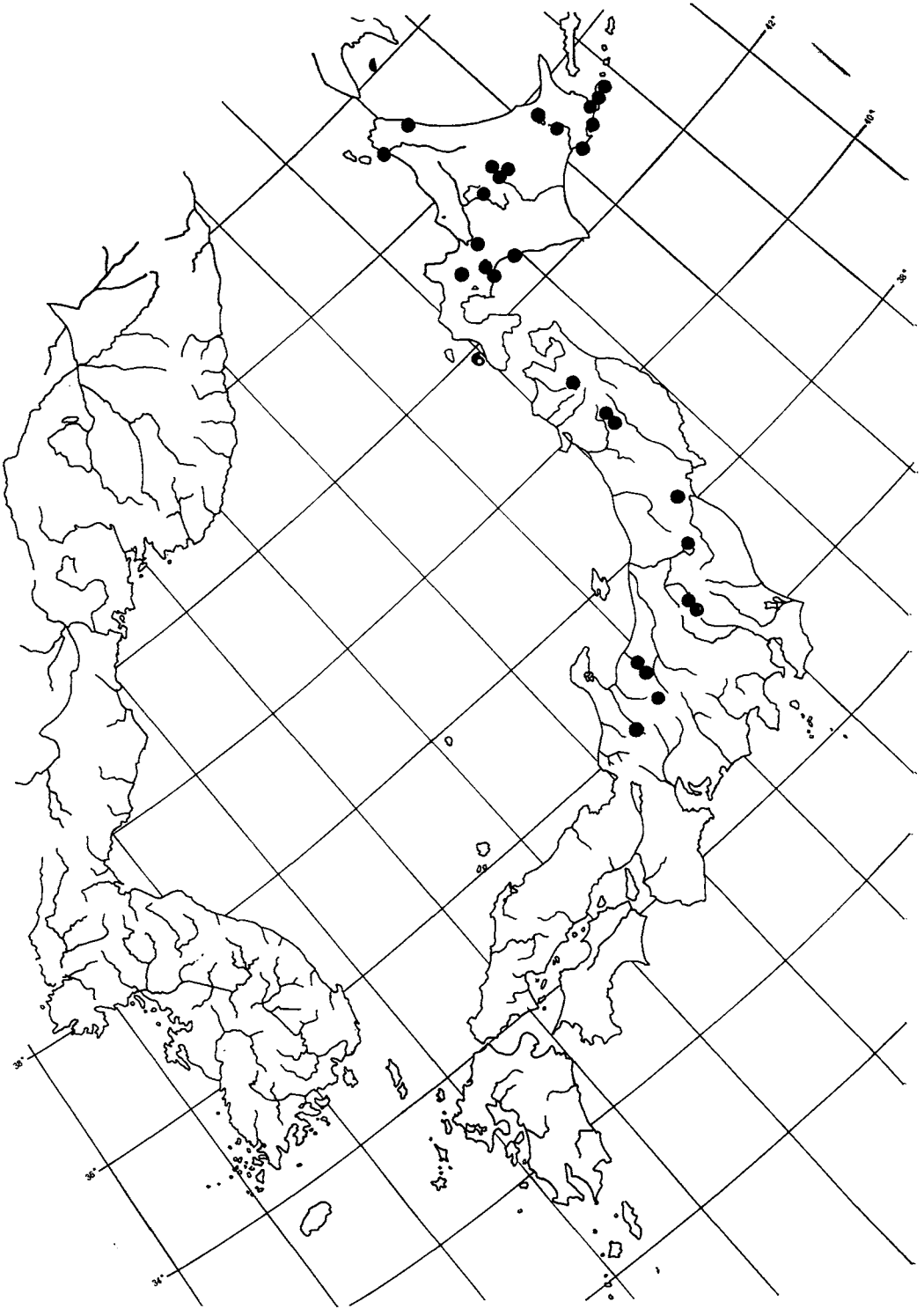


Map-IX. *Carex fulva* FRANCH.  
ニッコウハリスゲ



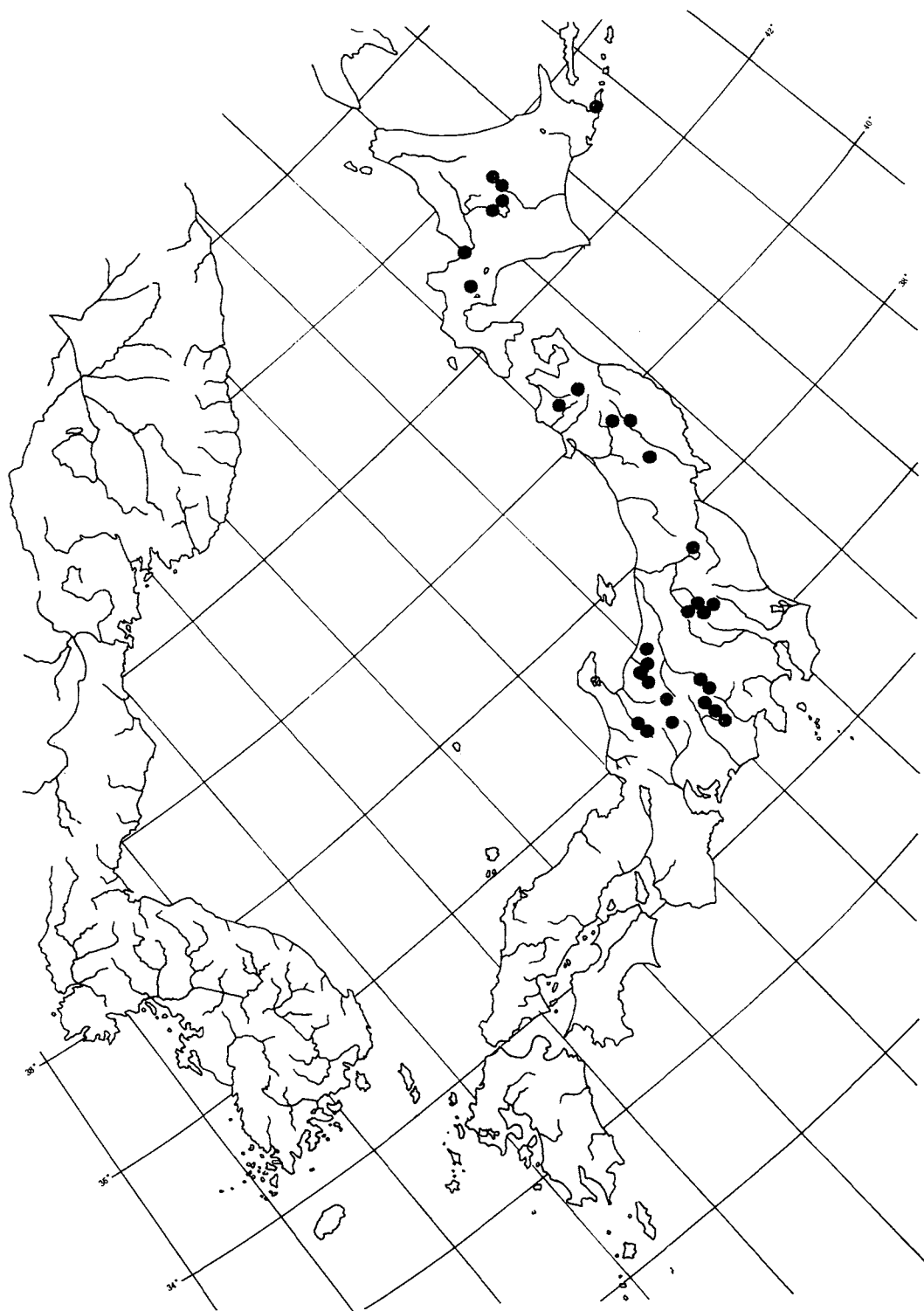
Map-X. *Carex stipata* Muhl.

オオカワズスゲ



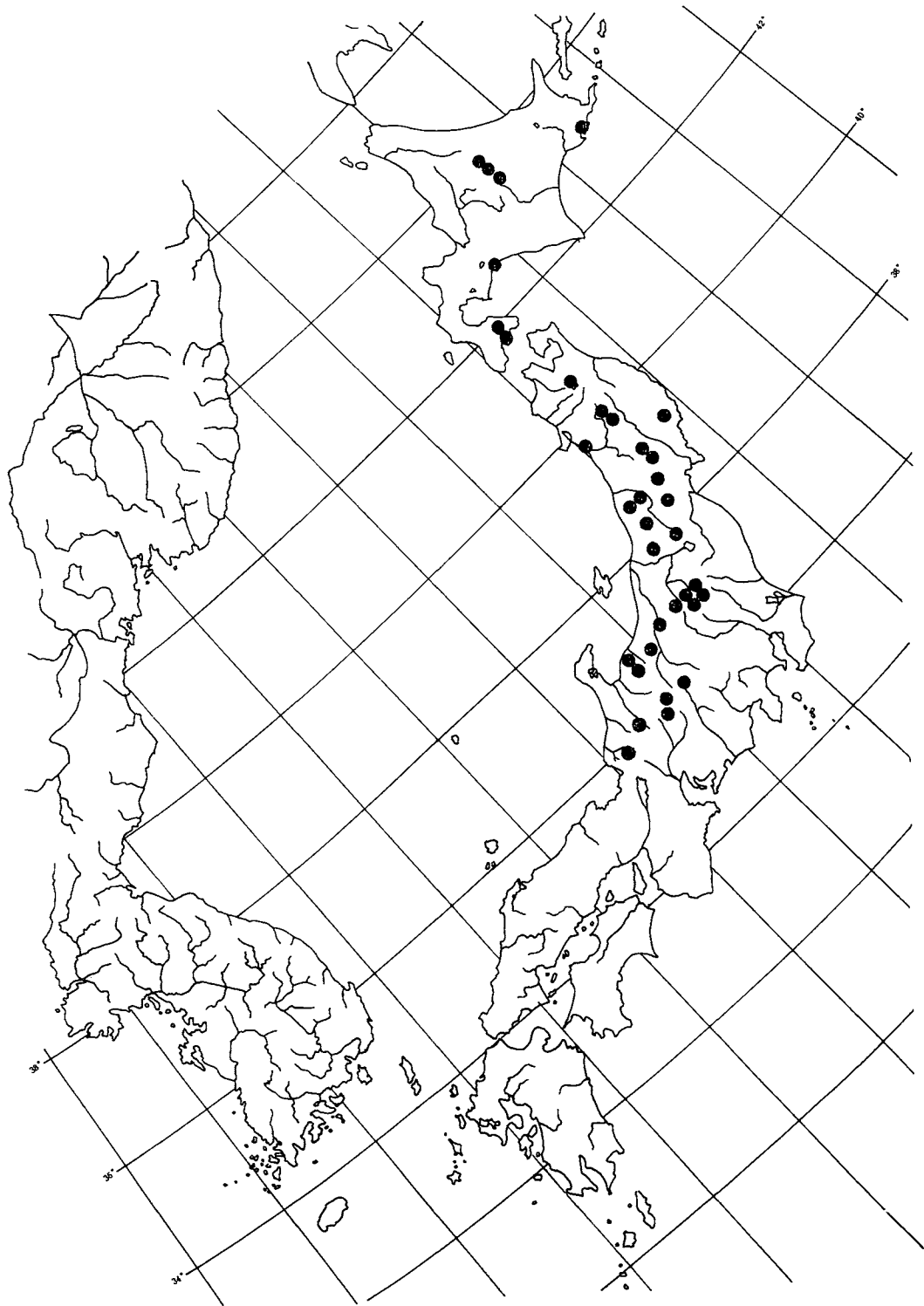
Map-XI. *Carex canescens* L.

ハクサンスゲ

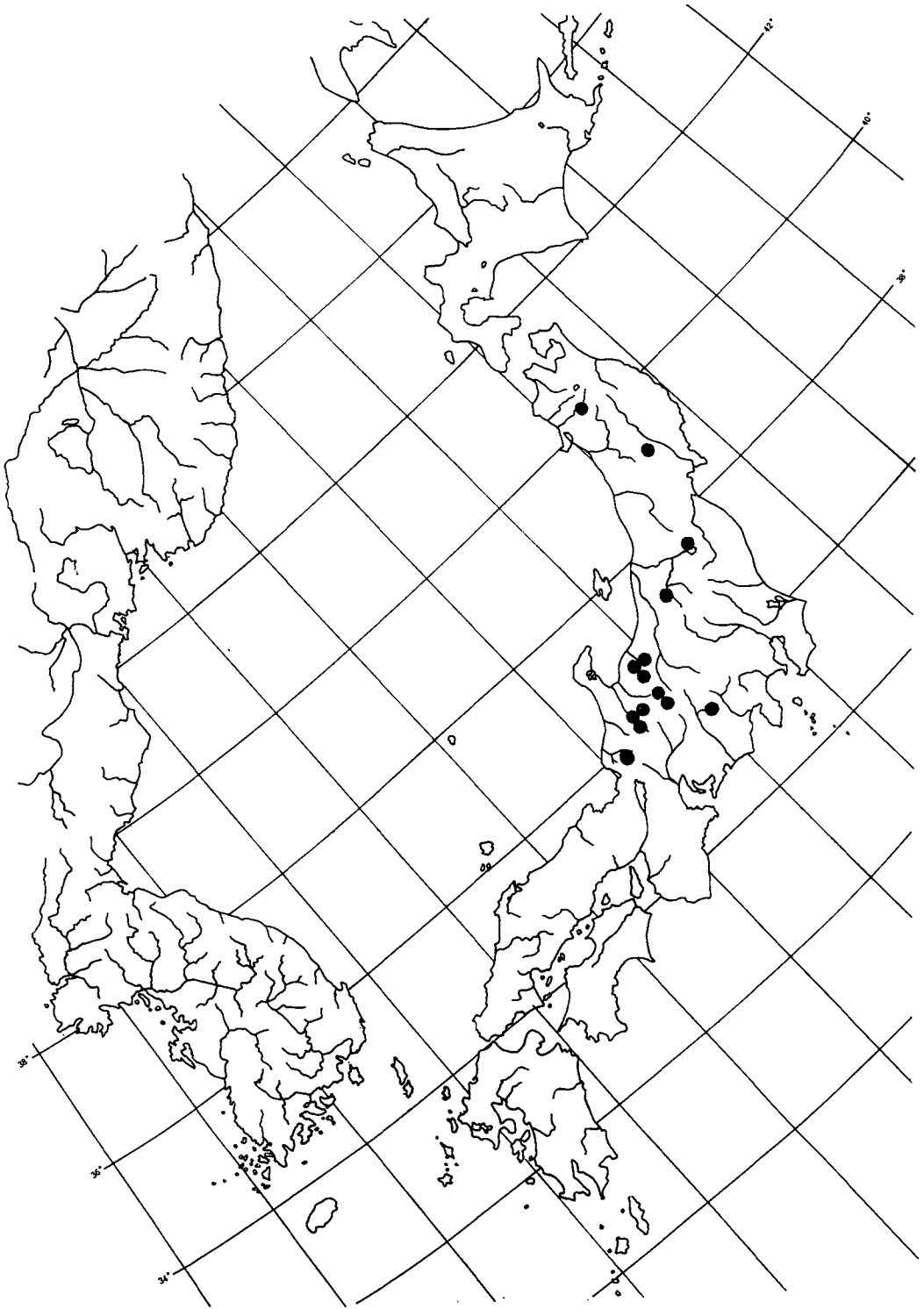


Map-XII. *Carex brunnescens* POIR.

ヒメカワズスゲ

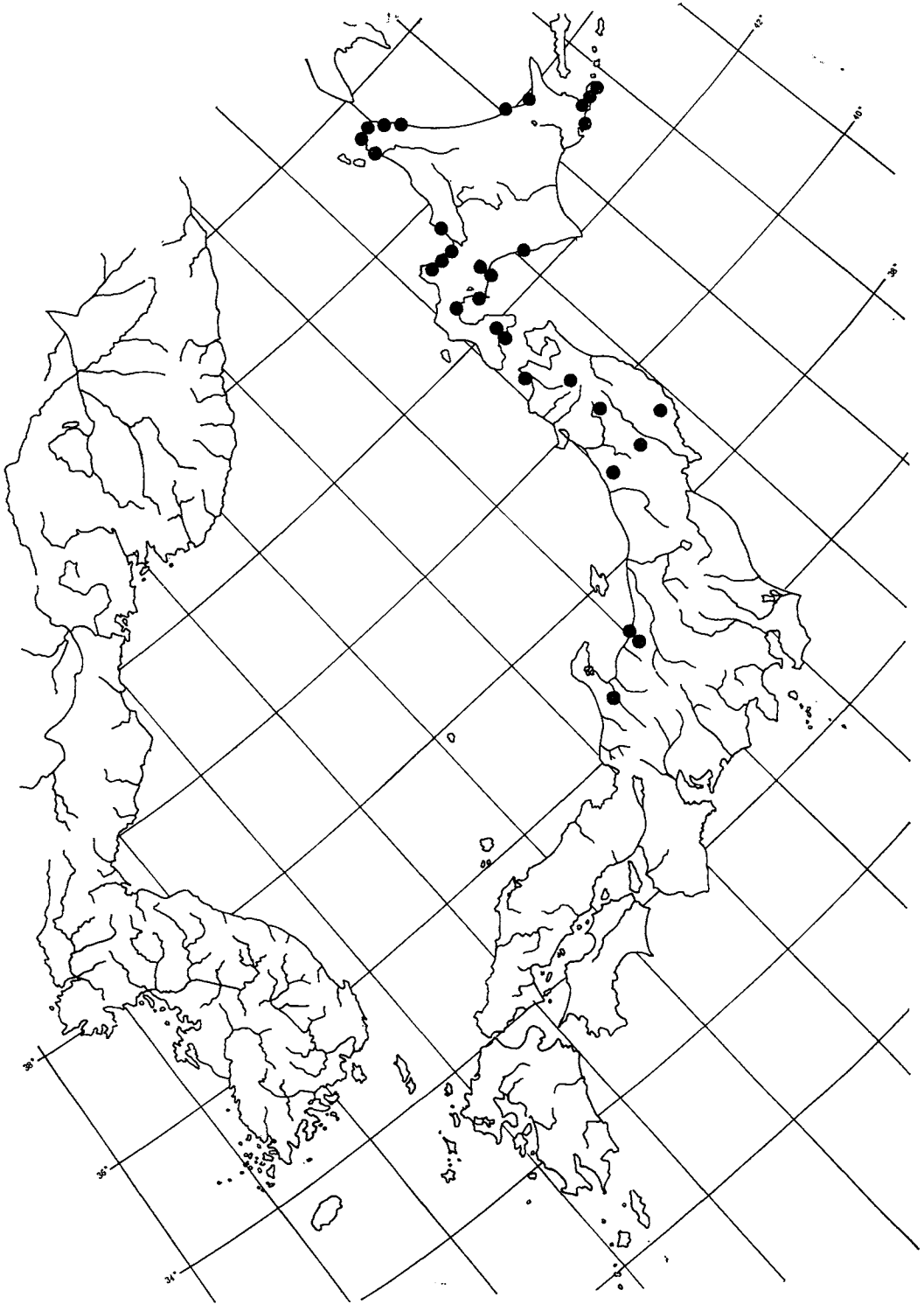


Map-XIII. *Carex omiana* FRANCH. var. *monticola* OHWI  
カワズスゲ



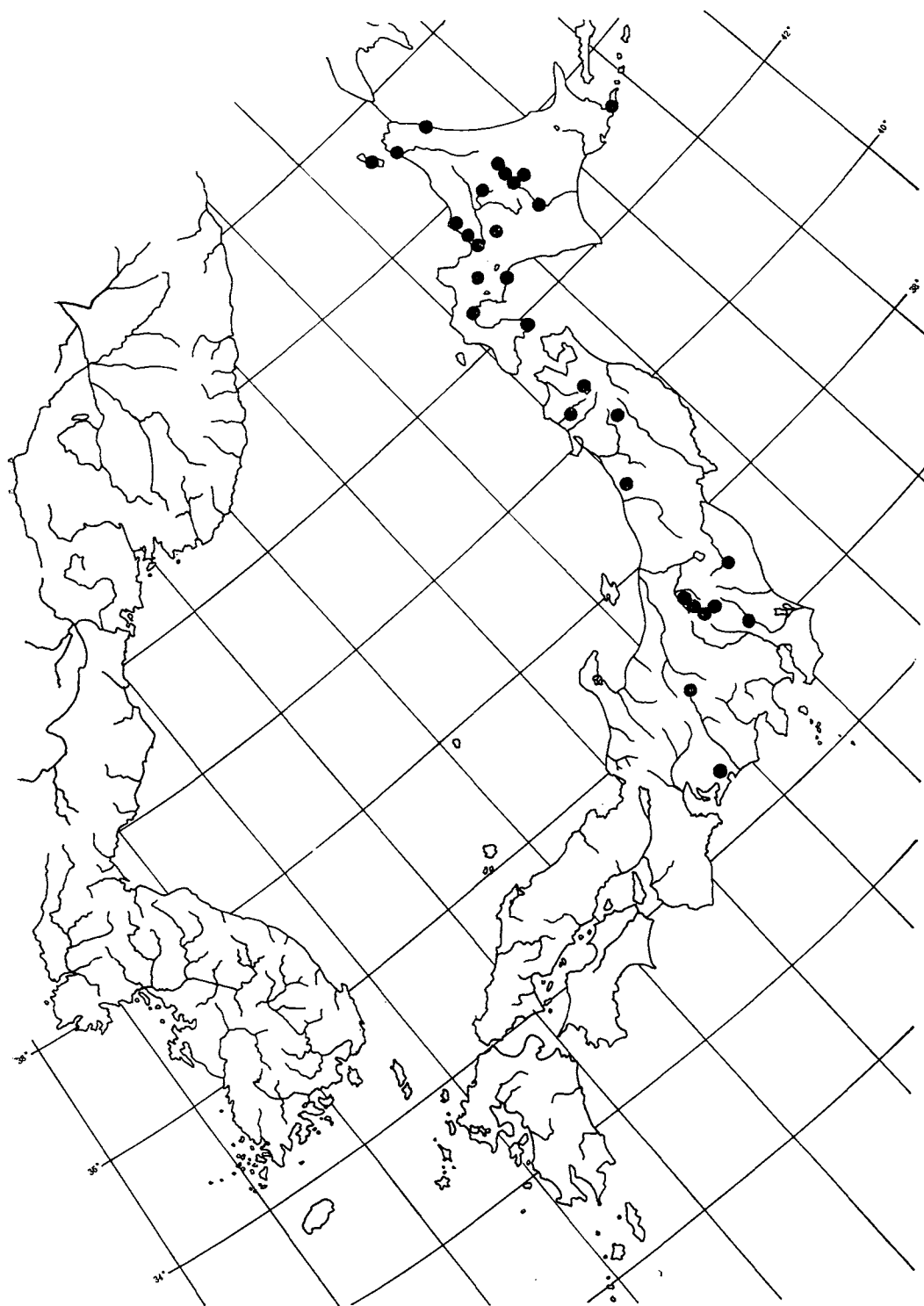
Map-XIV. *Carex senanensis* OHWI

ホ ス ゲ



Map-XV. *Carex lyngbyei* HORN.

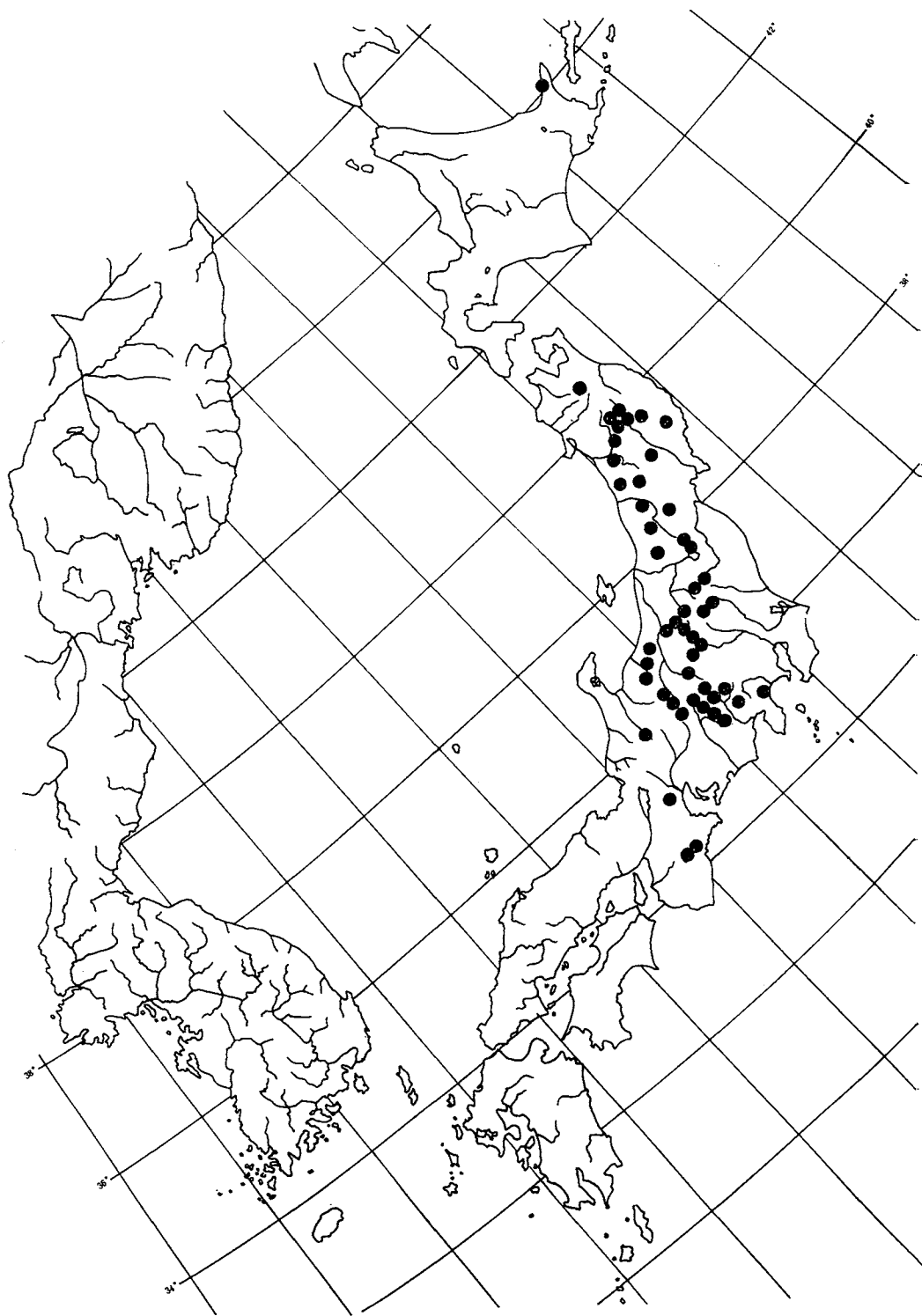
ヤラメスゲ



Map-XVI. *Carex middendorffii* Fr. Schum. var. *middendorffii*

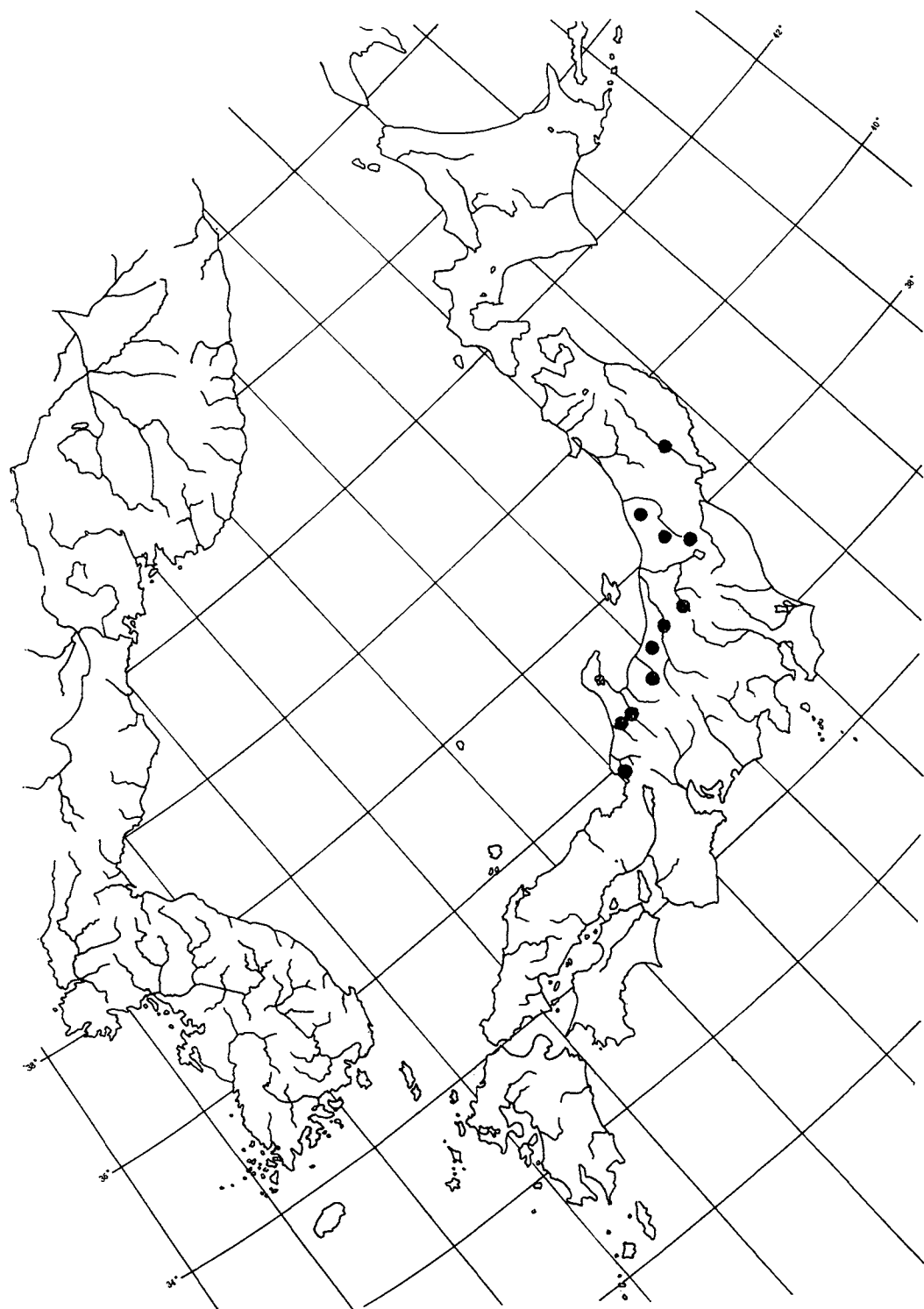
ホロムイスゲ





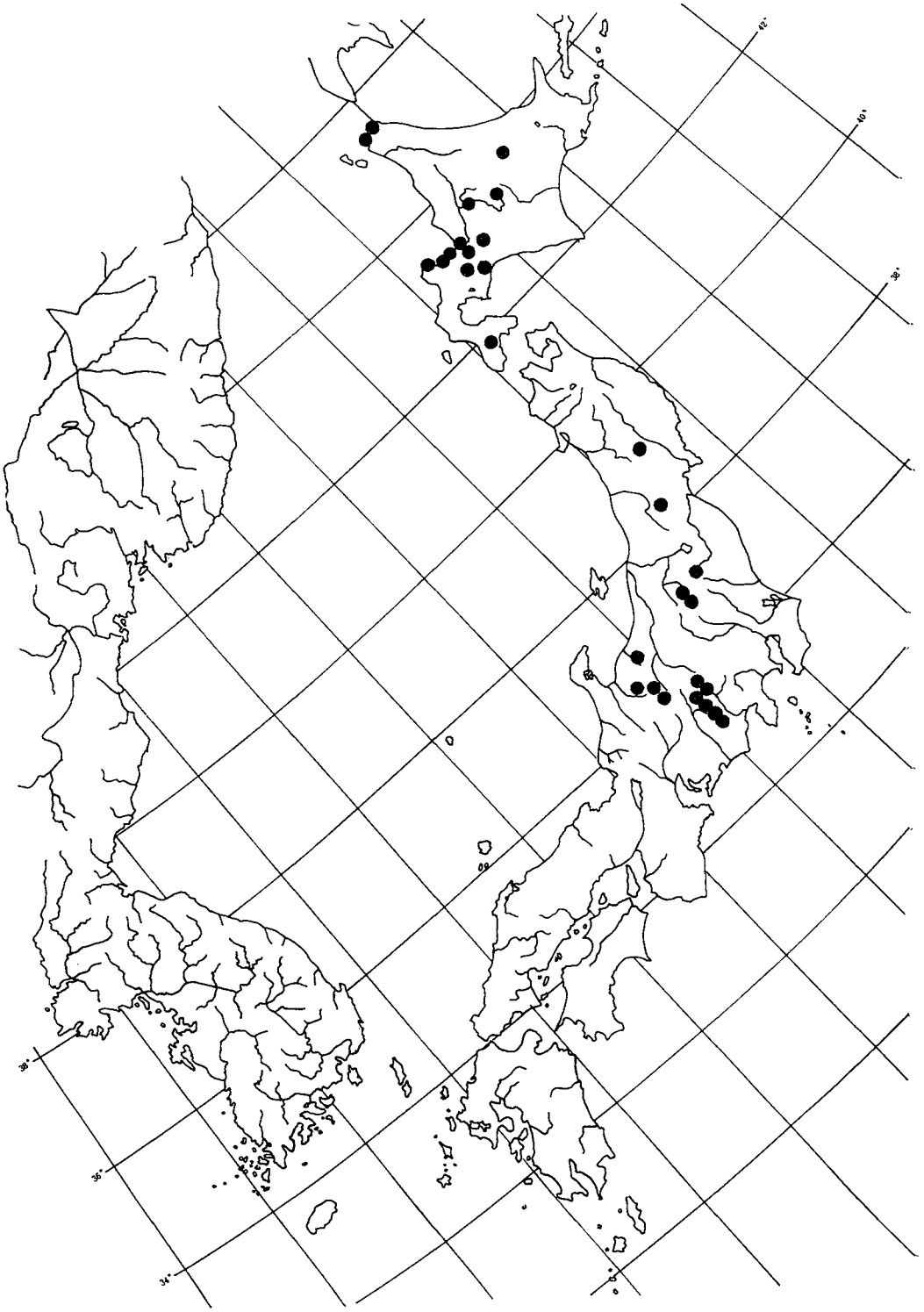
Map-XVII. *Carex doenitzii* Böck. var. *doenitzii*

コタヌキラン



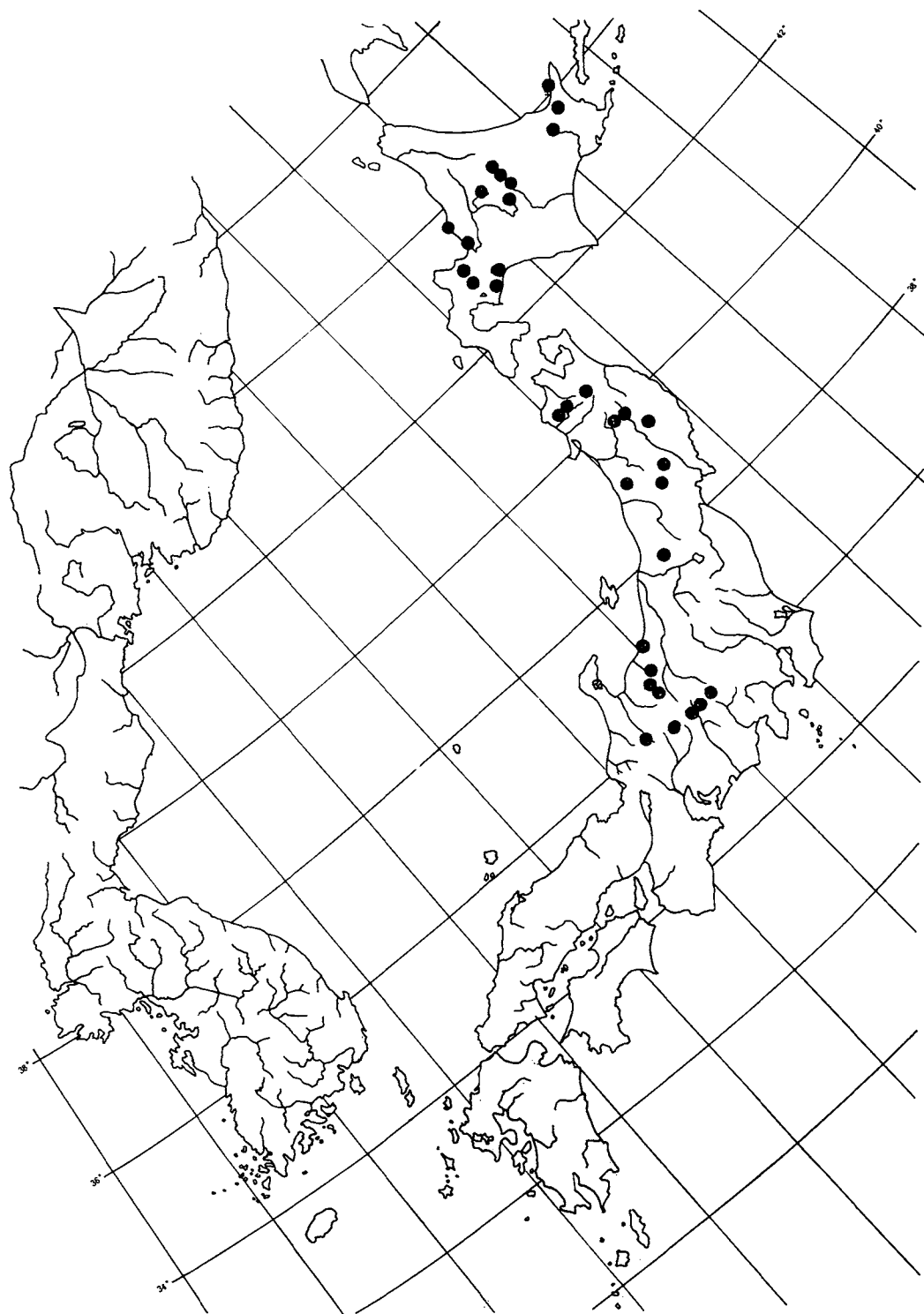
Map-XVIII. *Carex scitaeformis* KÜKENTH.

マシケスゲモドキ



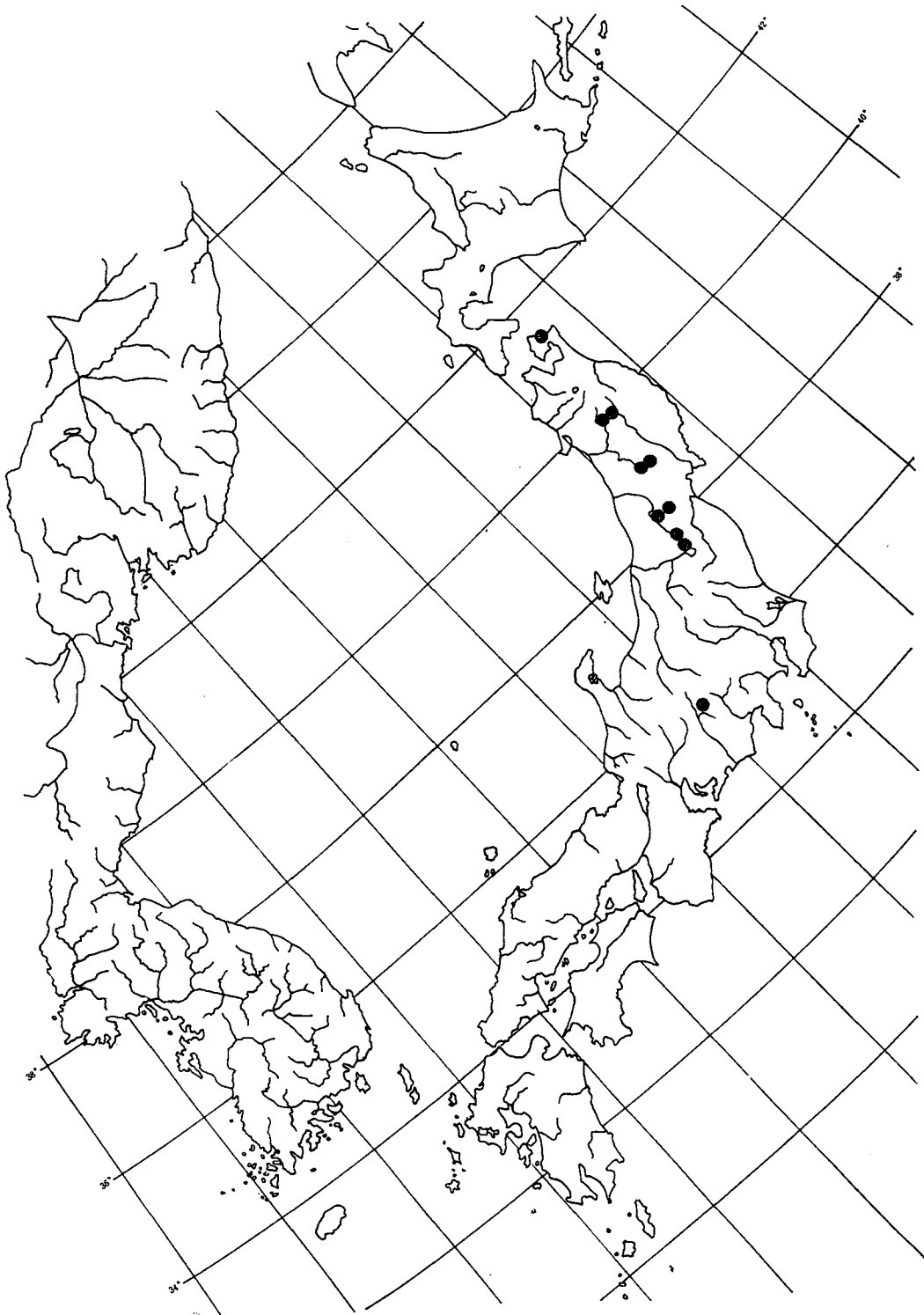
Map-XIX. *Carex augustinowiczii* MEINSH.

ヒラギシスゲ



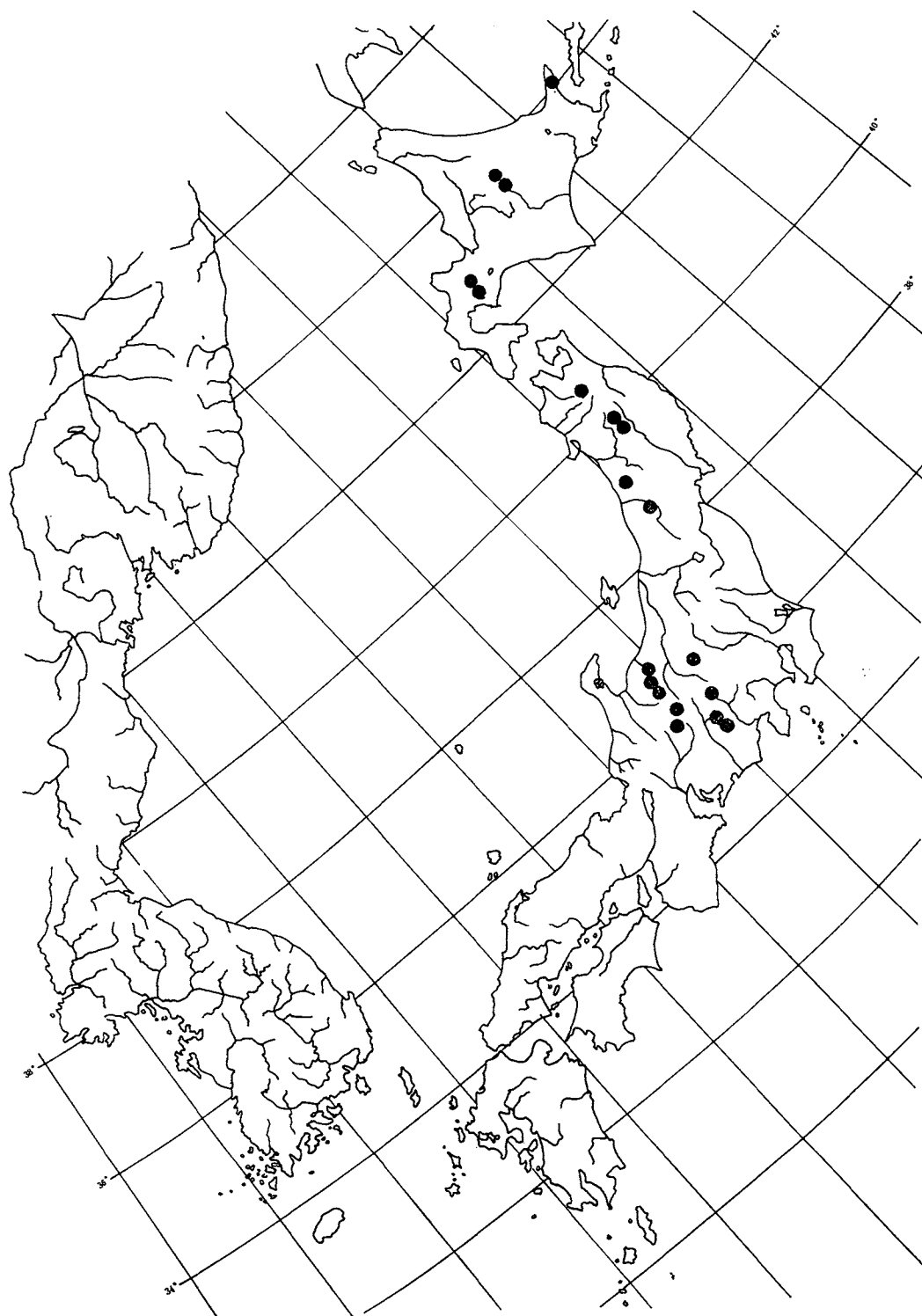
Map-XX. *Carex mertensii* Presc. var. *urostachys* Kükenth.

キンチャクスゲ



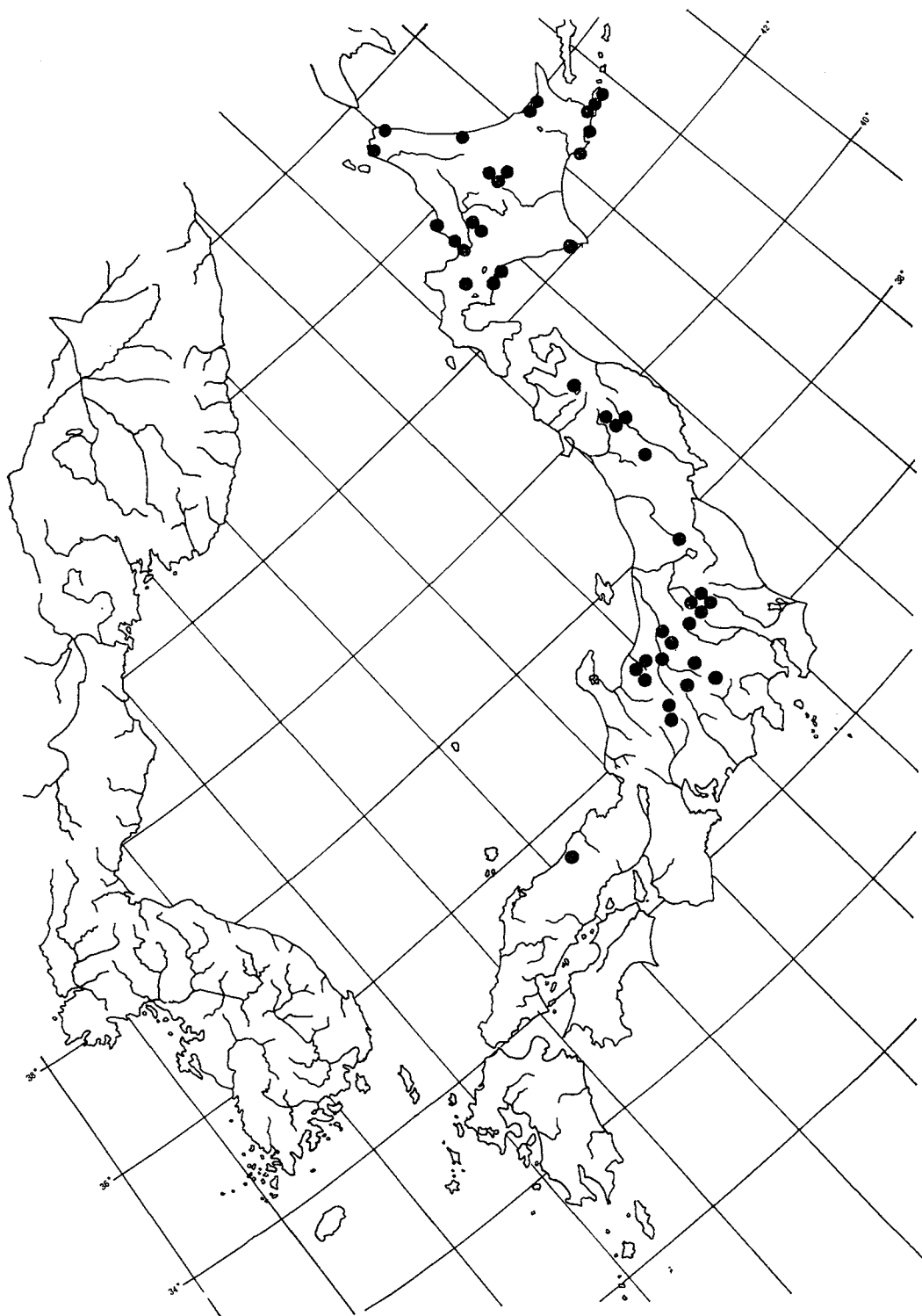
Map-XXI. *Carex angustisquama* FRANCH.

ヤマタヌキラン

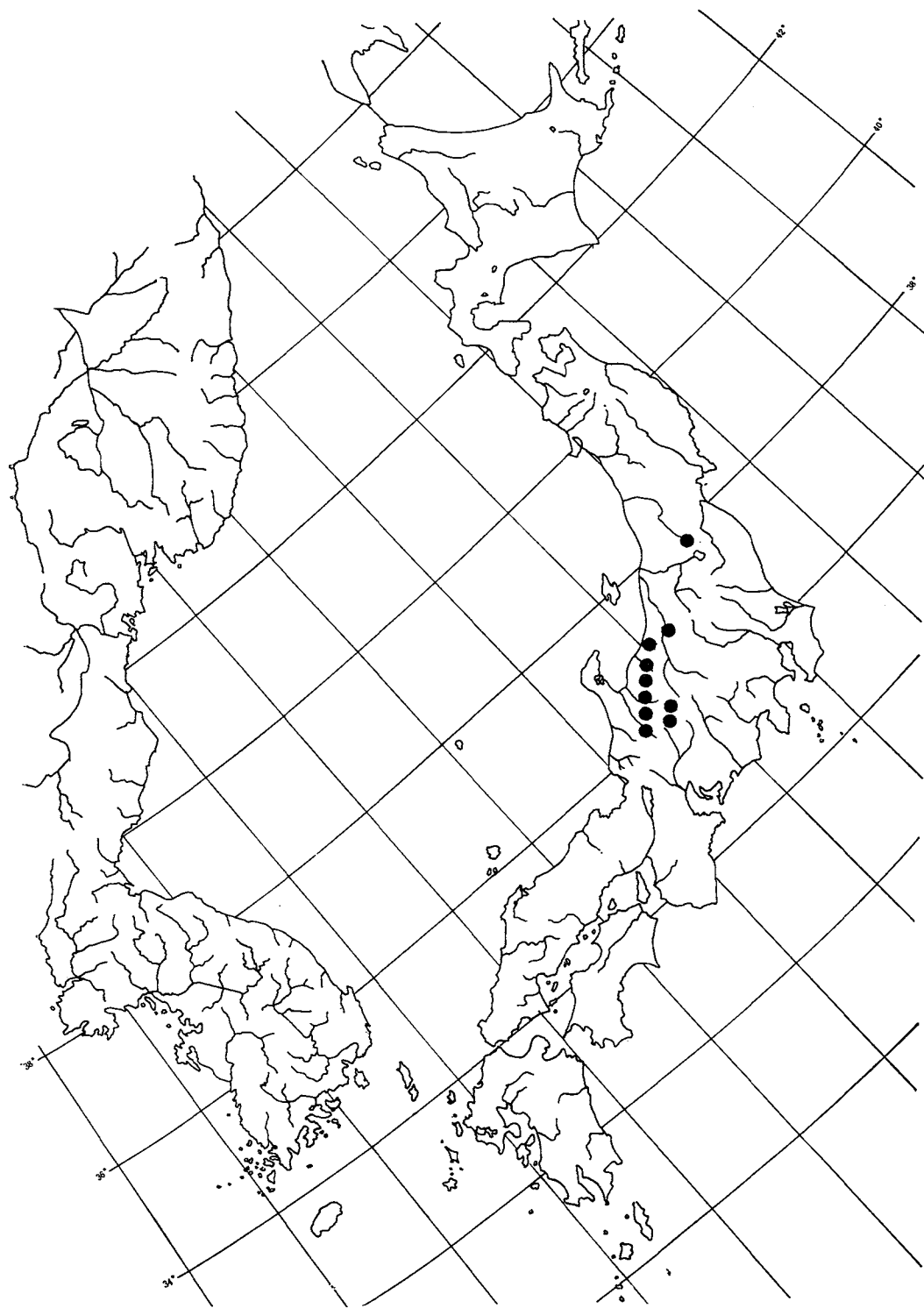


Map-XXII. *Carex flavocuspis* FRANCH. et SAVAT. var. *flavocuspis*

ミヤマクロスゲ

Map-XXIII. *Carex limosa* L.

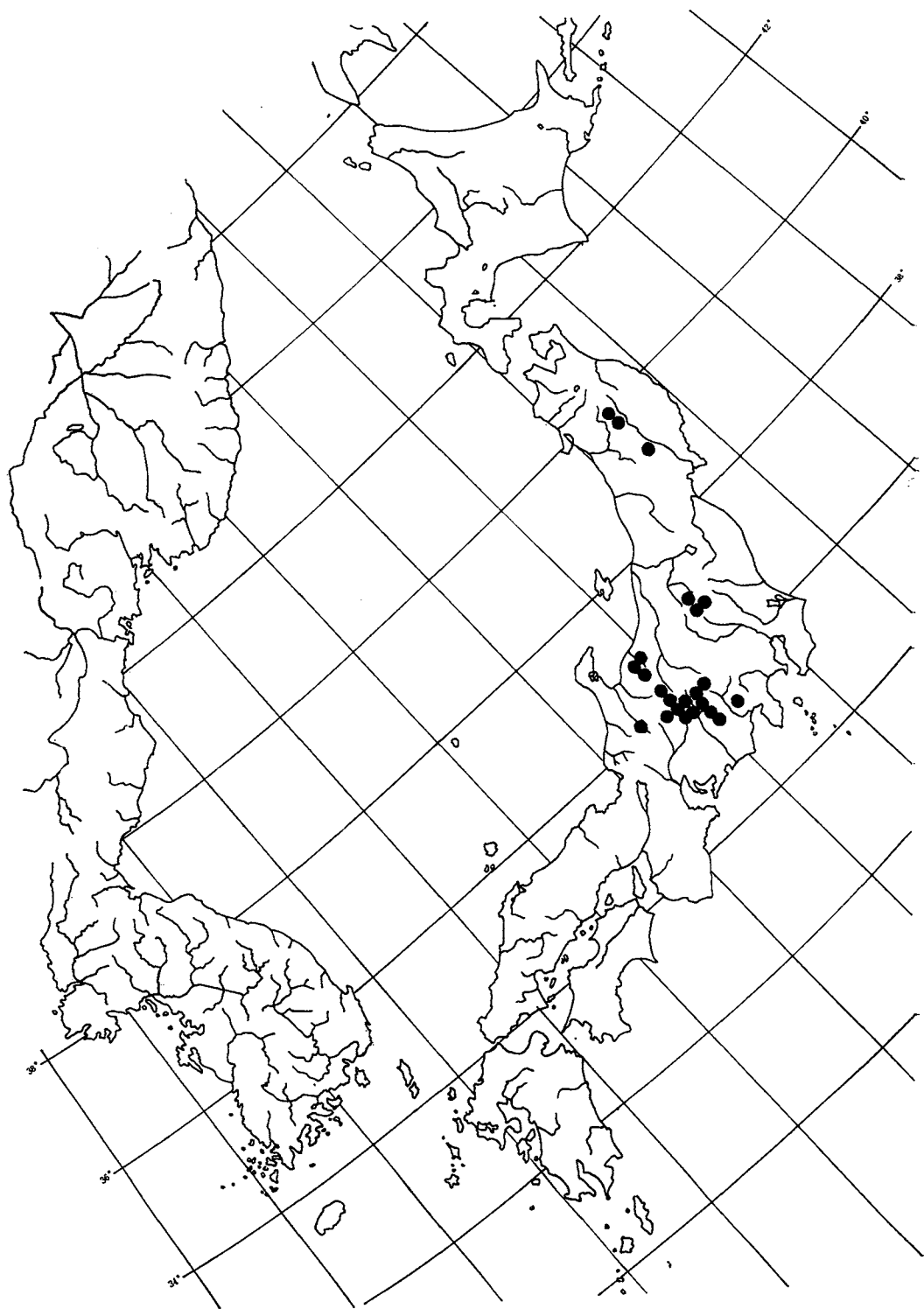
ヤチスゲ



Map-XXIV. *Carex paupercula* Michx.

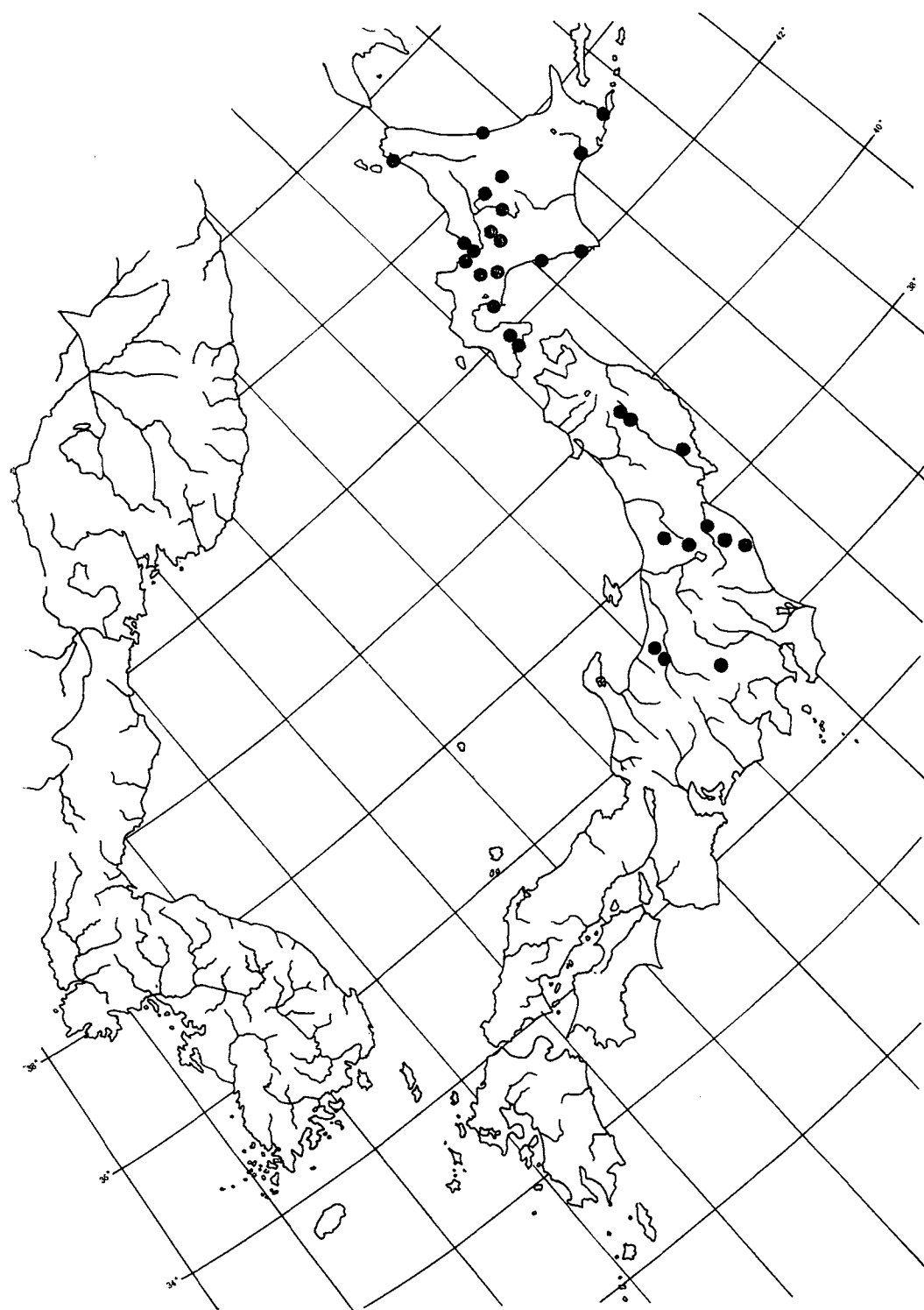
ダ ケ ス ケ





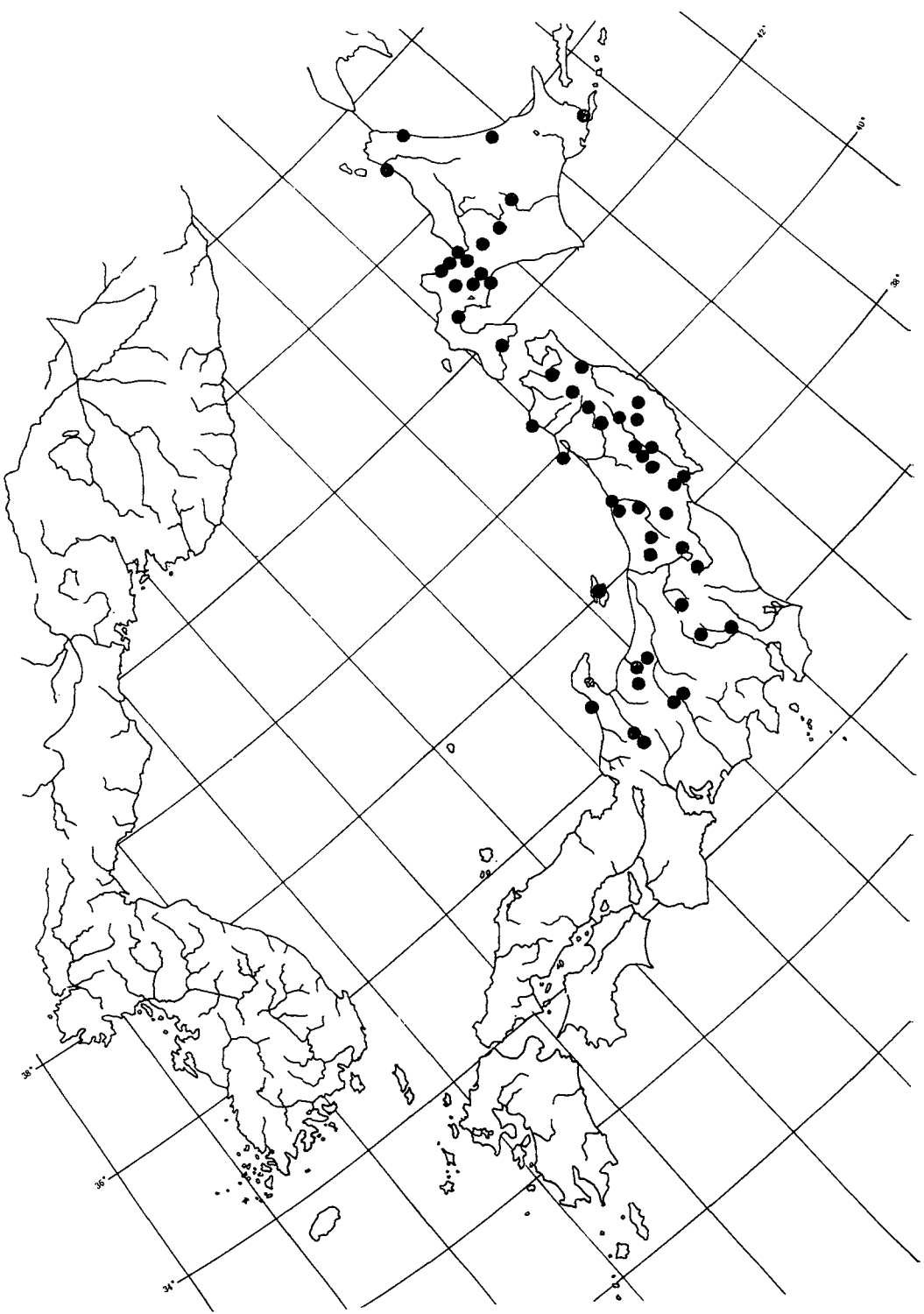
Map-XXV. *Carex stenantha* FRANCH. et SAVAT. var. *stenantha*

イワスゲ

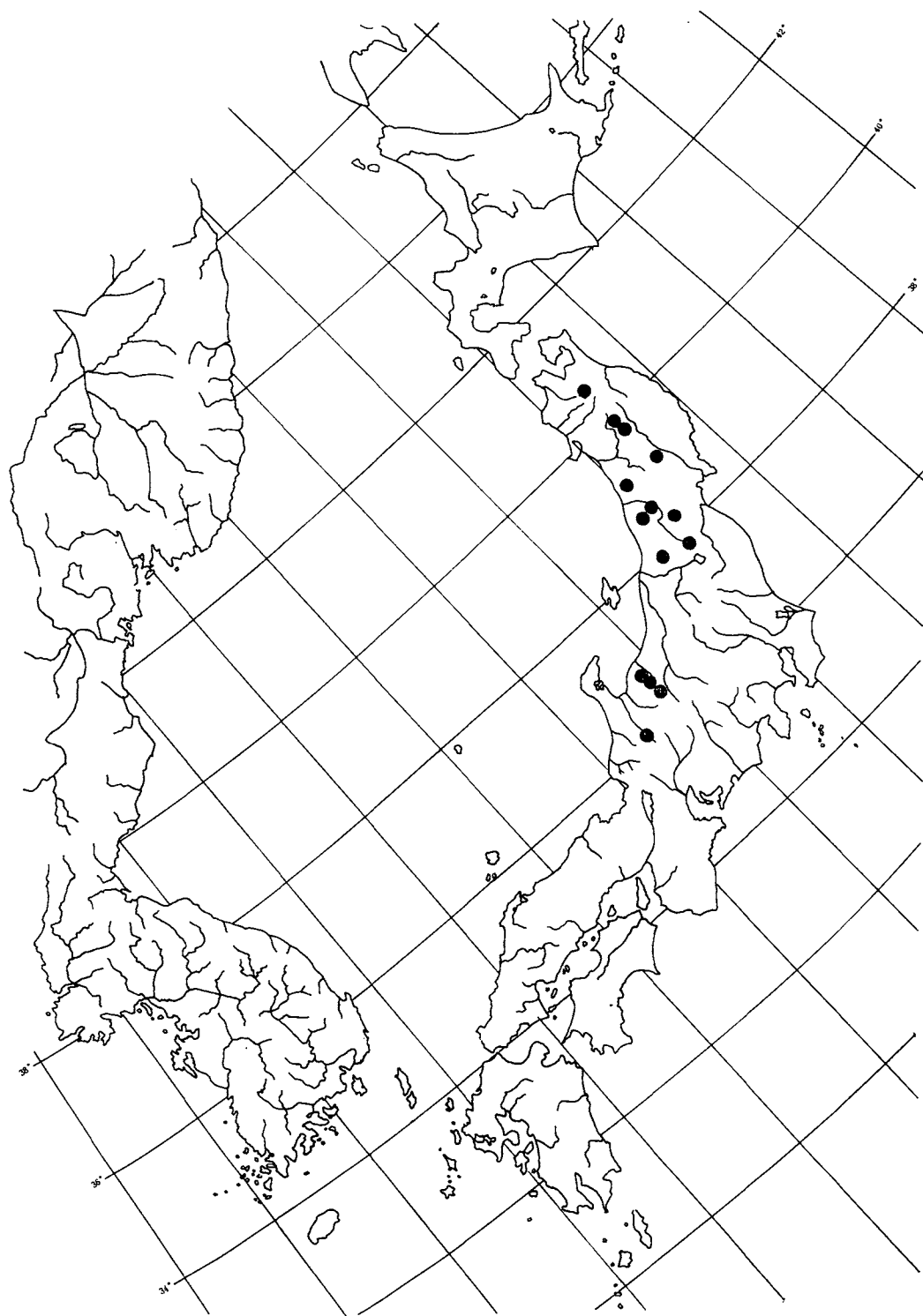


Map-XXVI. *Carex pilosa* Scop. var. *auriculata* Kükenth.

ハナマガリスゲ

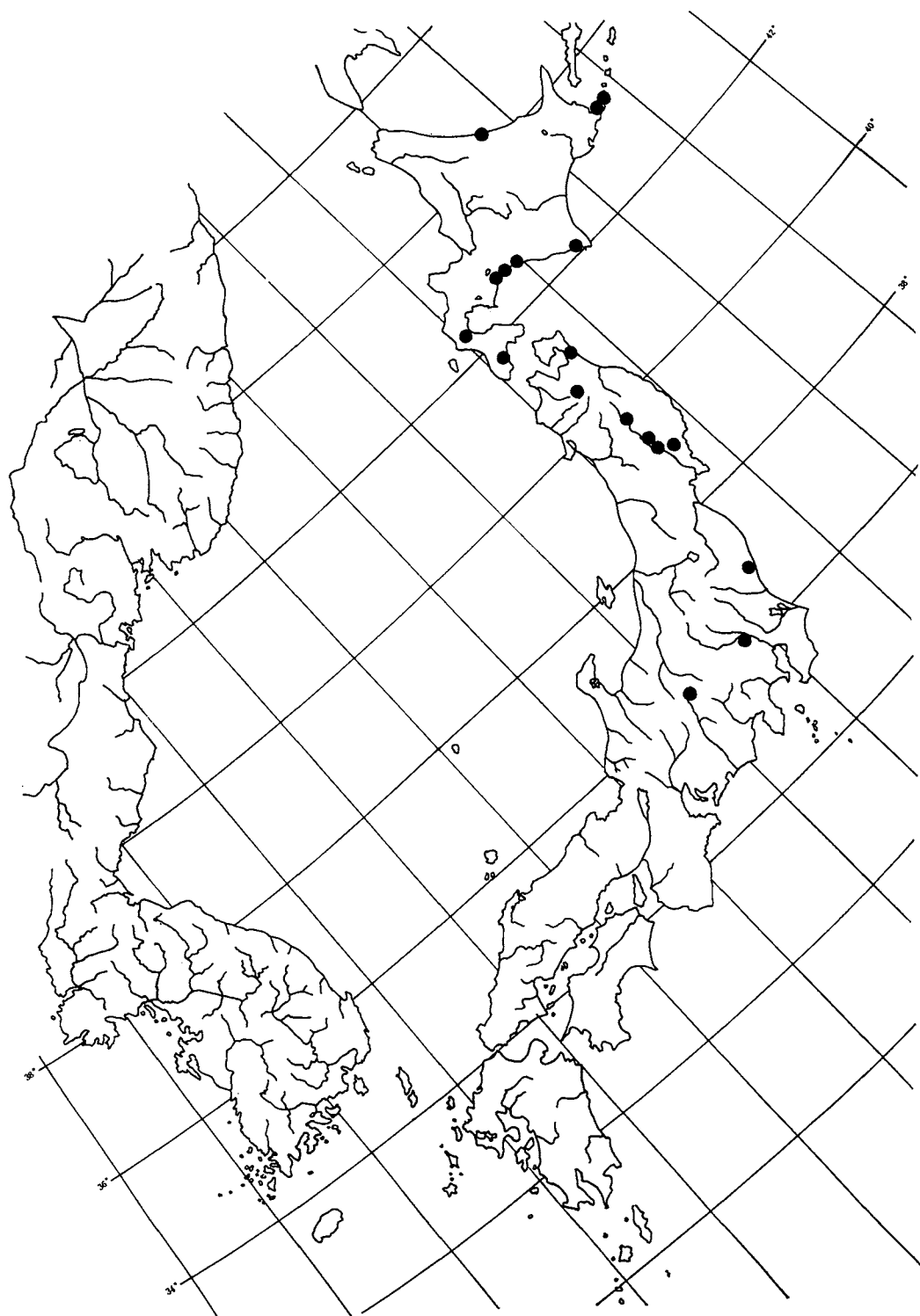


Map-XXVII. *Carex parviflora* Boott  
グ レ ー ン ス ゲ



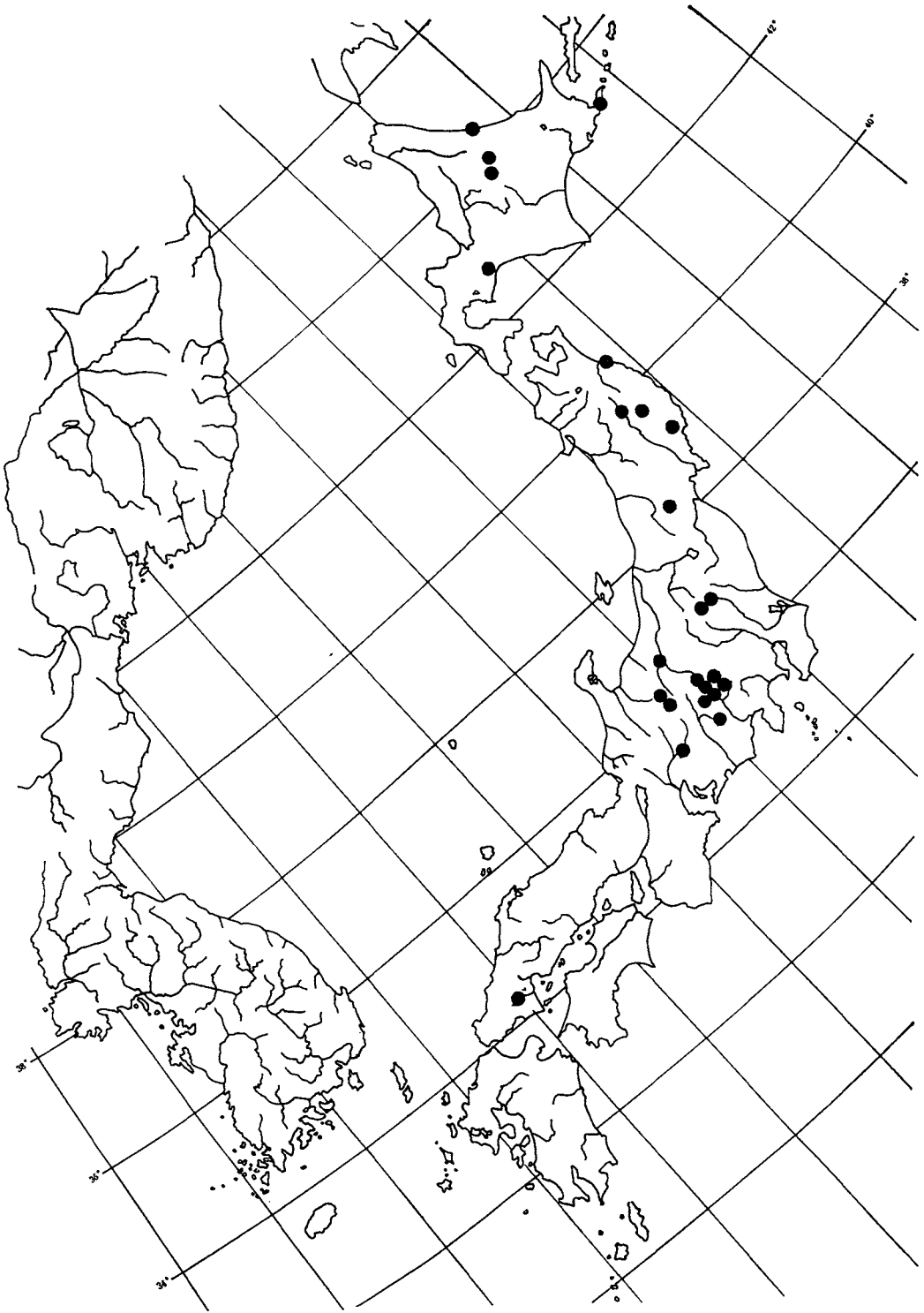
Map-XXVIII. *Carex vanioti* Lévl.

ナガボノコジュズスゲ



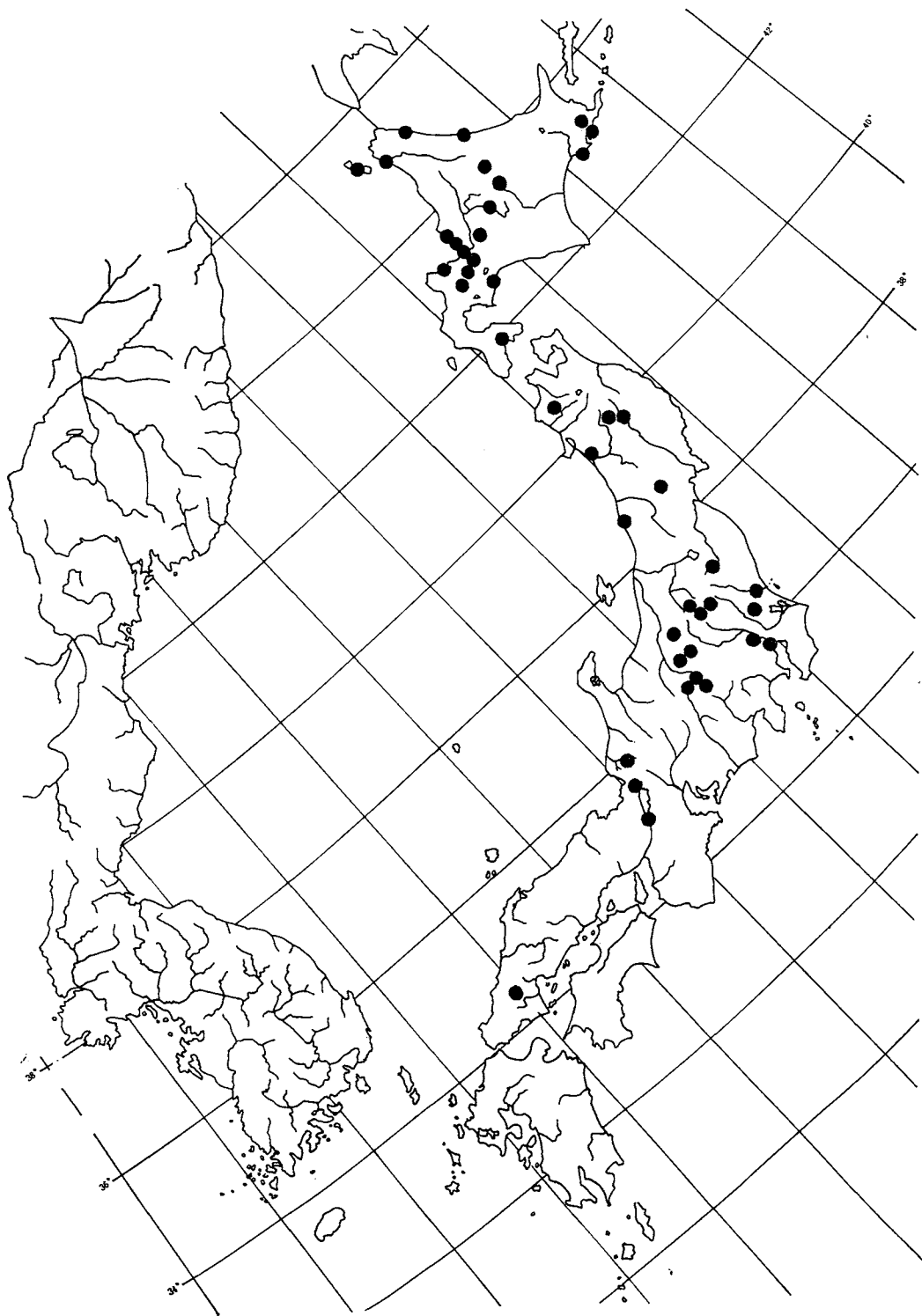
Map-XXIX. *Carex oederi* Retz. var. *viridula* Kükenth.

エゾサワスゲ



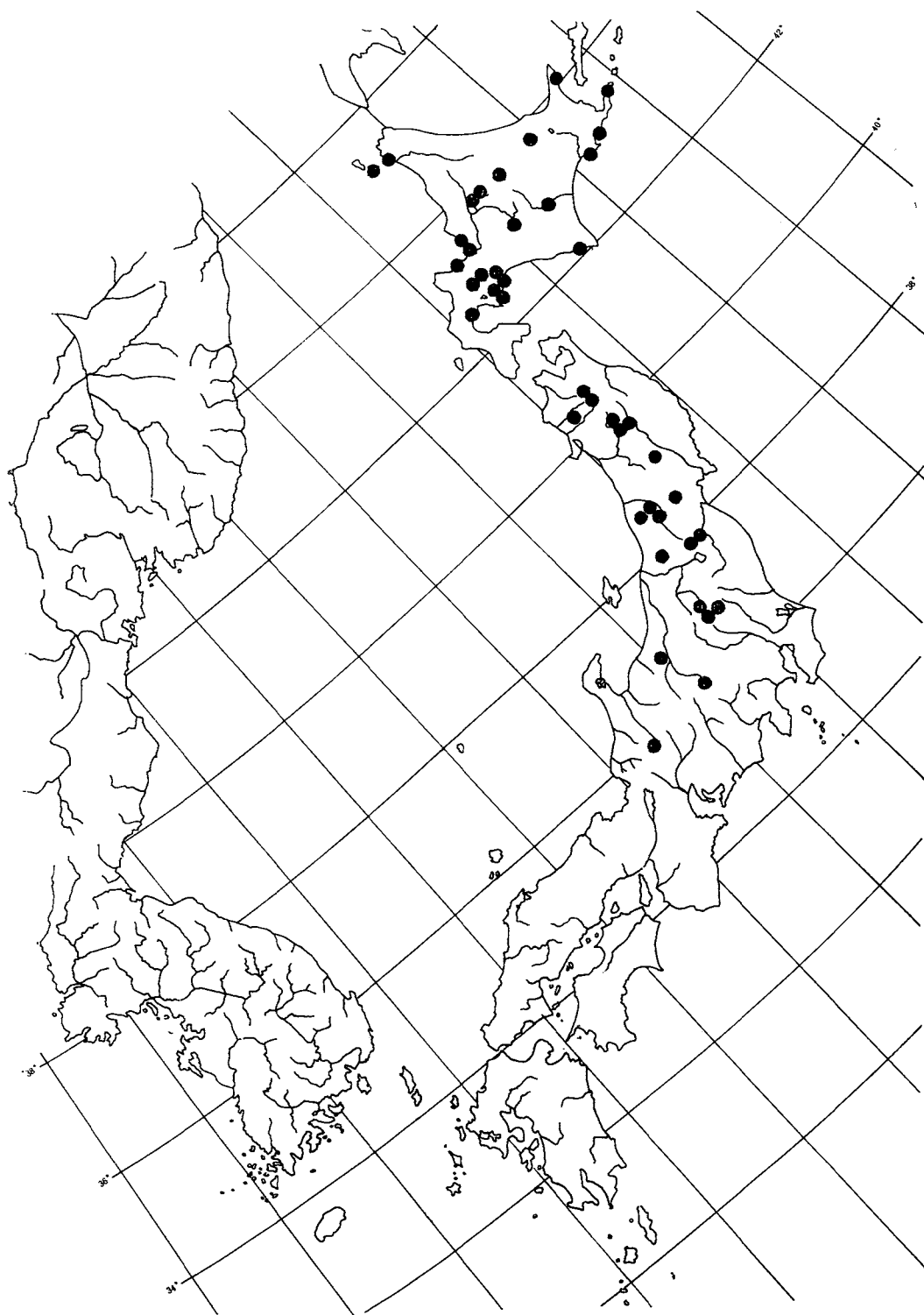
Map-XXX. *Carex planiculmis* KOMAR.

ヒカゲシラスゲ



Map-XXXI. *Carex vesicaria* L.

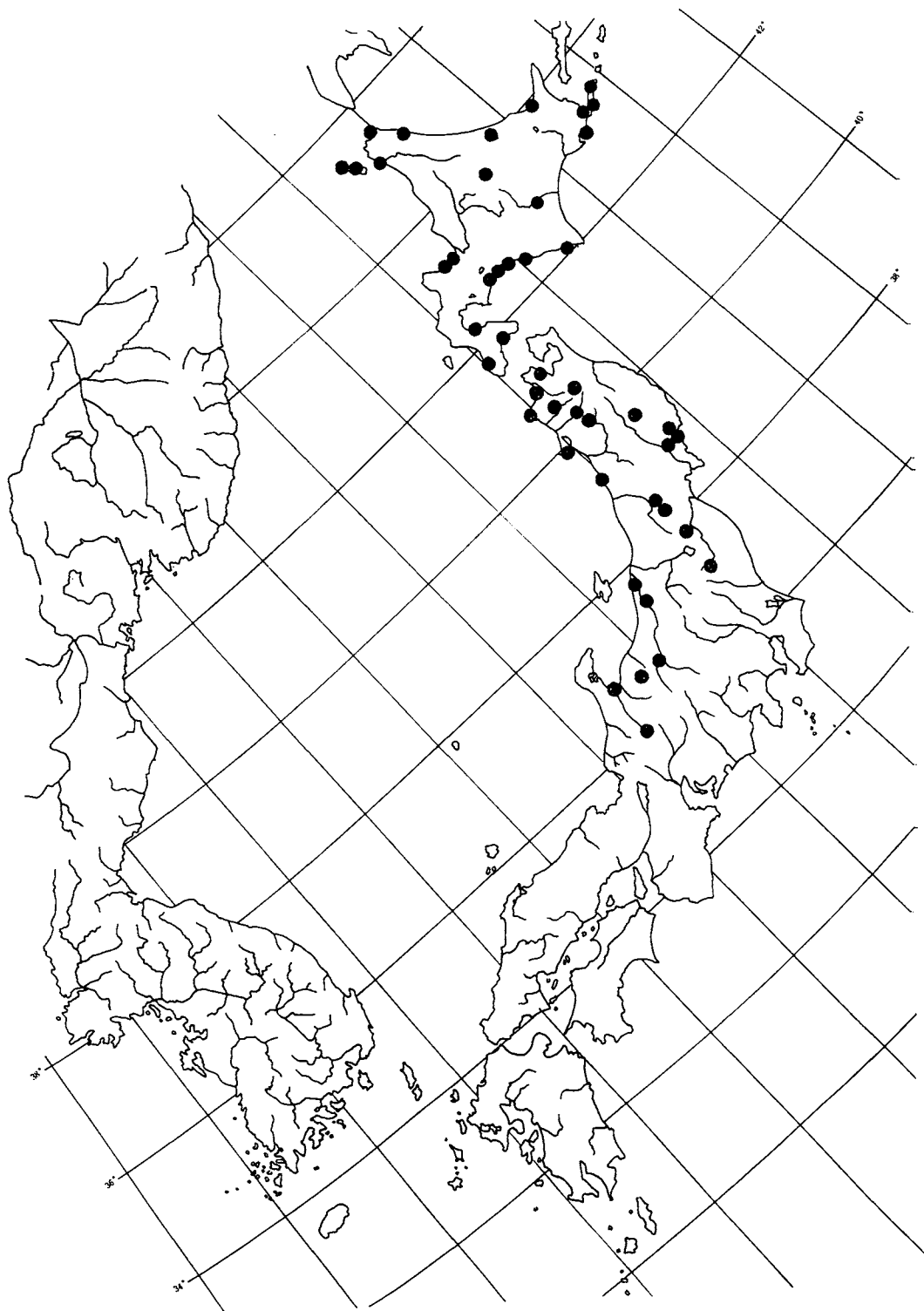
オニナルコスゲ



Map-XXXII. *Carex rhynchophysa* C. A. MEYER

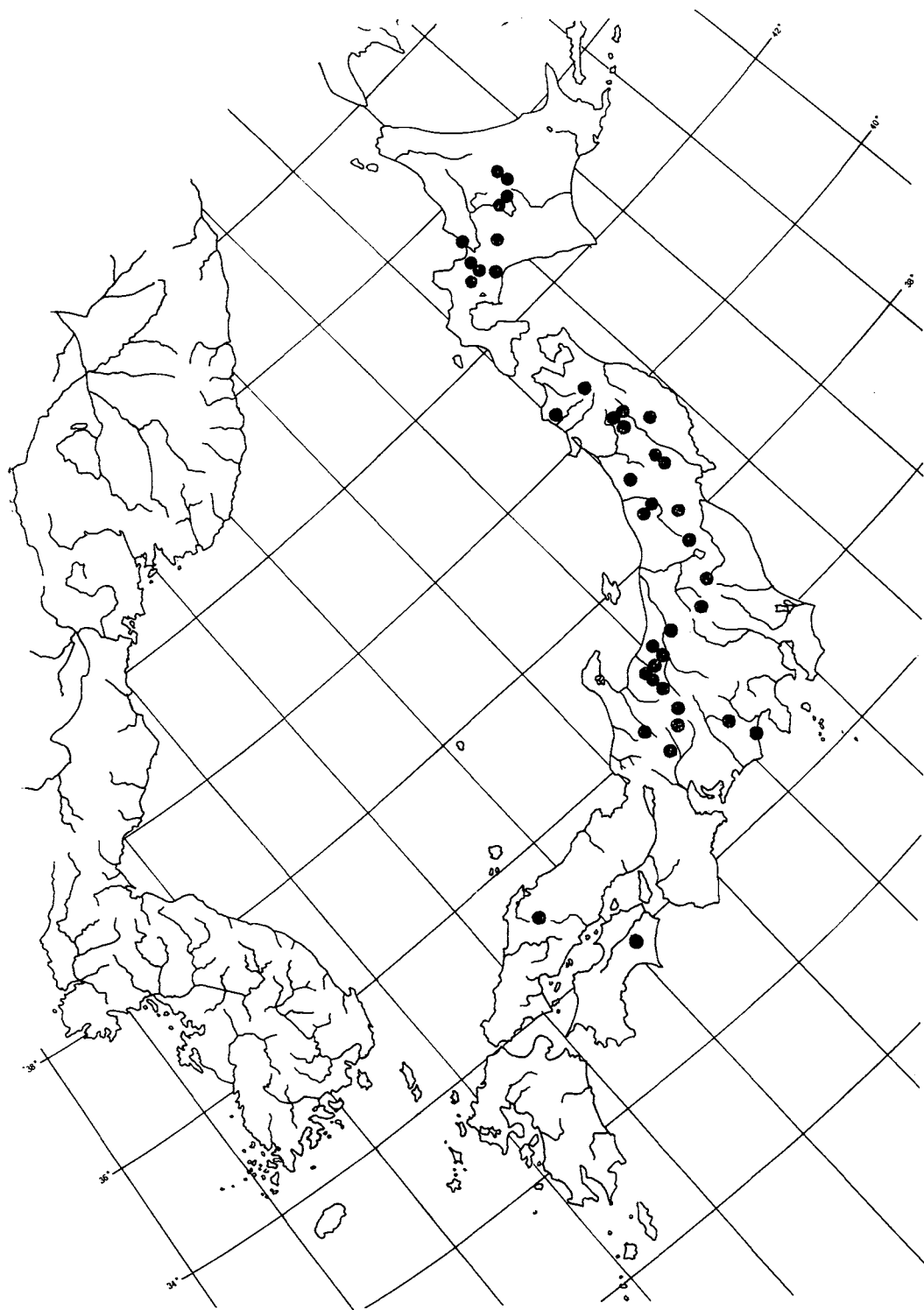
オオカサスゲ





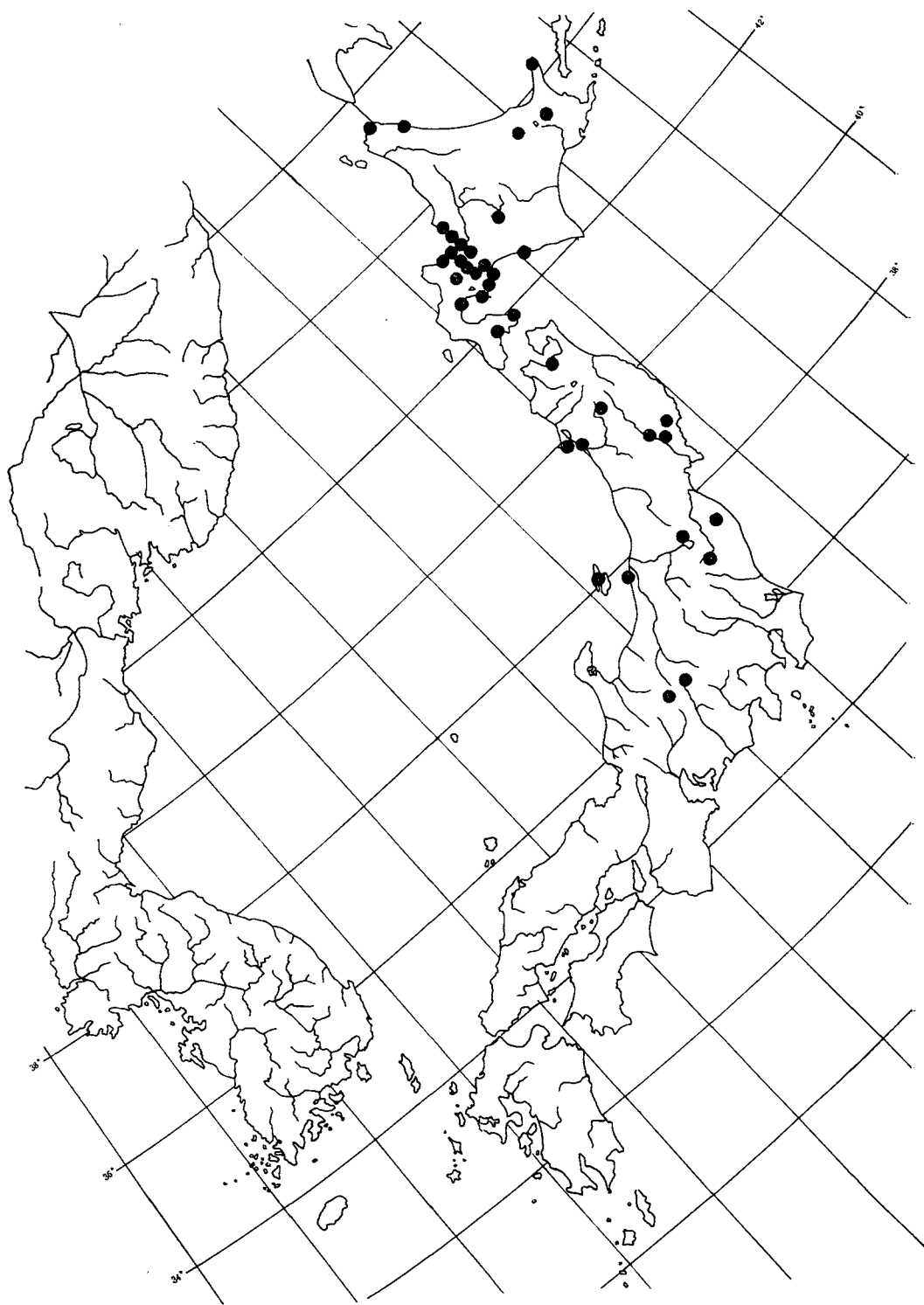
Map-XXXIII. *Carex verna* CHAIX. var. *microtricha* OHWI

チャシバスケ



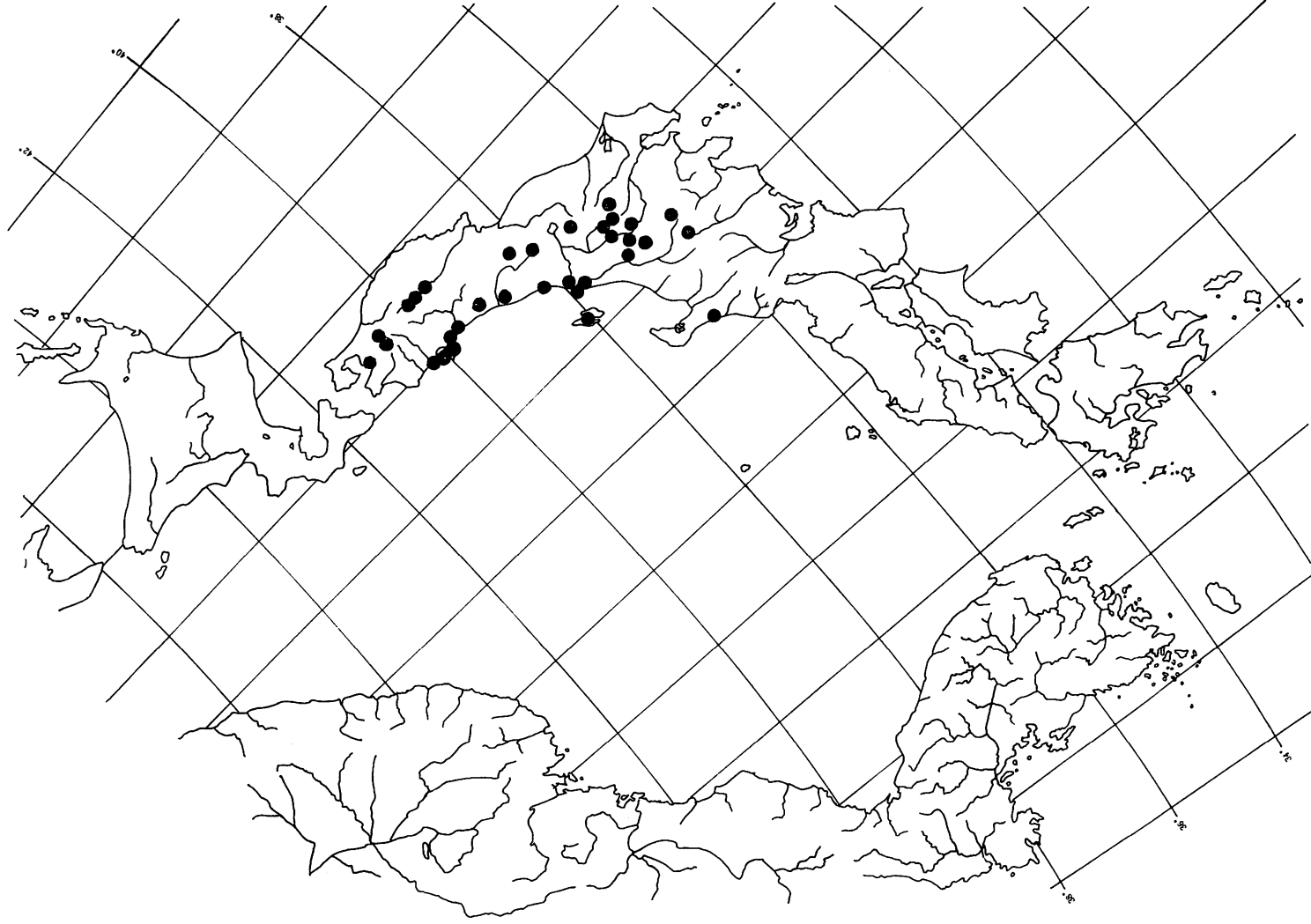
Map-XXXIV. *Carex jacens* C. B. CLARKE var. *jacens*

ハガクレスゲ



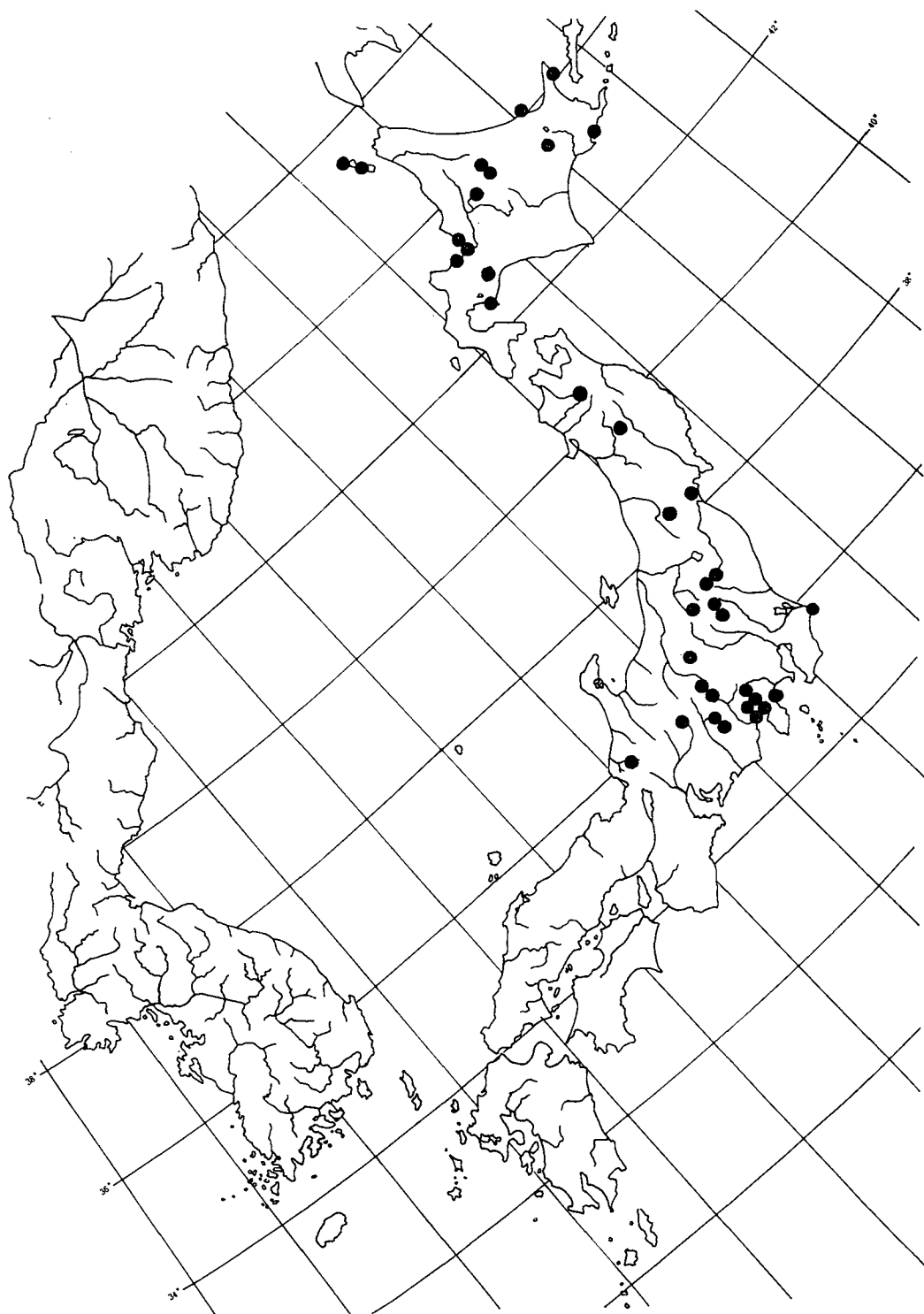
Map-XXXV. *Carex puberula* Boott

イトアオスゲ



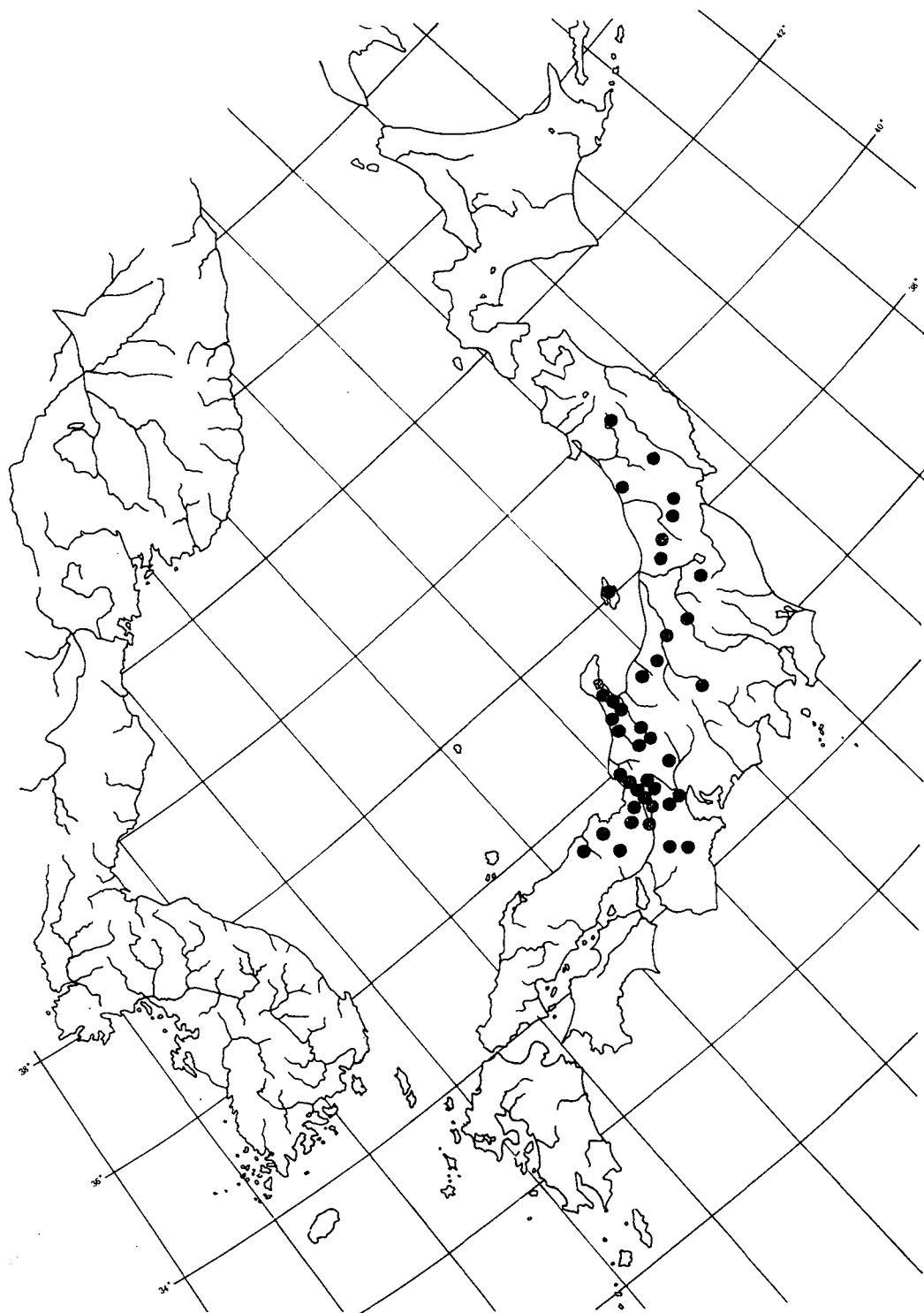
Map-XXXVI. *Carex cuneata* Ohwi

ミチノクホンモンジスゲ



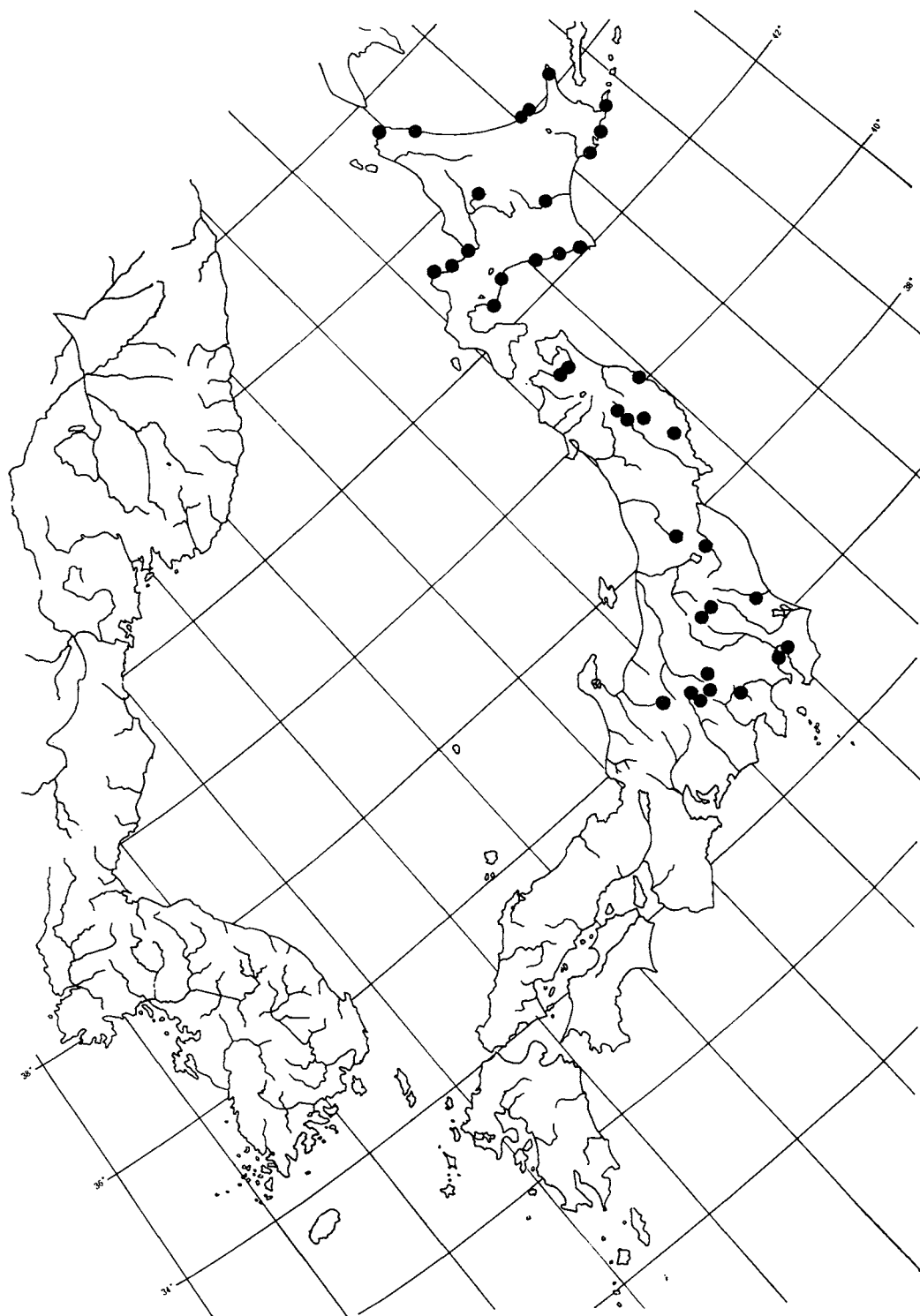
Map-XXXVII. *Carex sachalinensis* Fr. SCHM. var. *sachalinensis*

ゴングスゲ



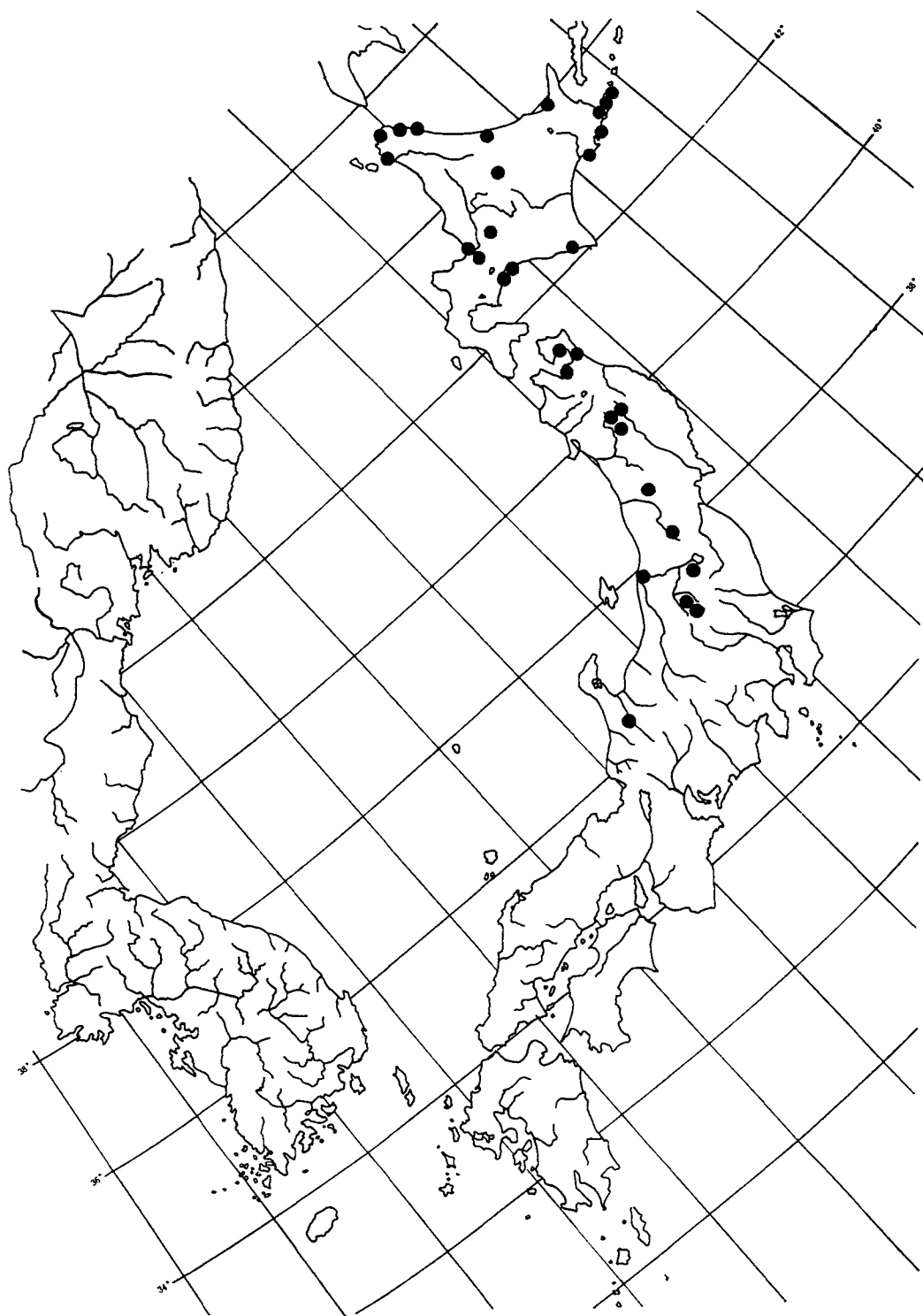
Map-XXXVIII. *Carex temnolepis* FRANCH.

ホソバカンスゲ



Map-XXXIX. *Carex longerostrata* C. A. MEY. var. *longerostrata*

マツマエスゲ



Map-XL. *Carex lasiocarpa* Ehrh. var. *occultans* Kükenth.

ムジナスゲ